Ⅰ．工事概要

1　工事場所　富山県 黒部市 植木 地内

2　建物概要

建物名称	構造	階数	延面積（㎡）	消防法施行令別表第一	耐震安全性の分類	耐火建築物等の別
黒部商工会議所会館	S造	2階	723.25	第15項	III類・B類	その他

Ⅱ．工事仕様

1　共通仕様

・電気設備工事

(1)　図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)令和４年版」、「公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)令和４年版」及び「公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)令和４年版」による。

(2)　建築工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、それぞれの仕様書を適用する。

・機械設備工事

(3)　図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)令和４年版」、「公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)令和４年版」及び「公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)令和４年版」による。

(4)　建築工事及び電気設備工事を本工事に含む場合は、それぞれの仕様書を適用する。

2．特記仕様

(1)　章及び項目は番号に○印の付いたものを適用する。

(2)　特記事項において選択する事項は、○印の付いたものを適用する。⊙印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。

章	項目	特記事項
⊙一般共通事項1	一般共通事項の適用	・ 本仕様書の一般共通事項１を適用する。 ⊙ 建築特記仕様書の一般共通事項１を適用する。
	1　工事実績情報の登録 2　下請関係の適正化 3　請負代金内訳書の提出 4　個人情報の取扱いについて 5　環境への配慮	・ 適用する。 本工事を下請けに付す場合は、「建設工事の下請関係の適正化に関する留意事項」を遵守すること。 ※受注者は、請負代金内訳書を作成し、工事請負締結後7日以内に発注者に提出すること。 「富山県土木工事共通仕様書」1-1-1-48個人情報取扱特記事項による。 1　使用する機材等に「富山県グリーン購入調達方針」で定めるものがある場合には、それに適合するものとする。 2　建物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の(1)から(4)を満たすものとする。 (1)　合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗剤は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 (2)　接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 (3)　接着剤は、可塑性(フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性可塑剤を除く)が添加されていない材料を使用する。 (4)　(1)の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。
	6　材料・機材の品質等	1　本工事に使用する材料・機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 2　下記に示す材料・機材等の製造業者等は次の(1)から(6)すべての条項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承諾を受ける。ただし、製造業者等名が記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。 (1)　品質及び性能に関する試験データを整備していること。 (2)　生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 (3)　安定的な供給が可能であること。 (4)　法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 (5)　製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 (6)　販売、保守等の営業体制を整えていること。 対象機材等　（　・　・　・　・　）
	7　地場産品の優先使用等	3　使用する機材が、国土交通省大臣官房官庁営繕部整修の「建築材料・設備機材等品質性能評価事業設備機材等評価名簿」による場合は、標準仕様書第1編1.4.2の品質及び性能を有することを証明できる資料の提出を省略することができる。 1　地場産品の優先使用 受注者は、工事に使用する資材等について、品質が水準以上であり、かつ価格が適正である場合には県内地場産品（建設資材又は製品等で、県内で最終製造工程が施されたもの又は県内に本社・本店を置く取扱業者から調達したものをいう）を優先使用するものとする。 2　県内企業の優先選定等 受注者は、工事に係る下請契約又は資材等納入契約を締結する場合には、当該契約の相手方は富山県内に本社・本店を置くものの中から選定するよう努めなければならない。
	8　発生材の処理等	発生材は構外搬出処分とし、その費用も含め受注者自らの責任において適正に処理するものとする。 ※舗装切断作業に伴い、切断機械から発生する排水については、排水吸引機能を有する切断機械等により回収し、適正に処理する。 ・ 建設リサイクル法対象工事（ 契約額１億円以上(税込)） ・ 再資源利用計画書等の作成及び提出 ※ 運搬、処分業者契約書及び許可証の提示 ※ マニフェスト管理一覧表の提示
	9　電気保安技術者	電気保安技術者を工事現場に　・おく　・おかない
	10　監督職員事務所	・ 設けない　・ 設ける
	11　工事用電力・水その他	本工事に必要な工事用電力、水、燃料及び諸手続き等の費用は受注者の負担とする。
	12　工事用仮設物	構内につくることが　・できる　・できない
	13　施工機械	「富山県土木工事共通仕様書」1-1-1-33環境対策に記載の排出ガス対策型建設機械及び低騒音型・低振動型建設機械を使用するものとする。
	14　現場代理人の工事現場における常駐を要しない期間	次のいずれかに該当し、かつ、発注者との連絡体制が確保されると認めた場合には、工事現場における常駐を要しない期間として取り扱う。 (1)契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間 (2)工事の全部の施工を一時中止している期間 (3)上記に掲げる期間のほか、工事現場において作業等が行われていない期間
	15　主任技術者又は監理技術者の専任を要しない期間	次のいずれかに該当し、かつ、その期間が書面により明確となっている場合については、専任を要しない。 (1)請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間 (2)自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により、工事を全面的に一時中止している期間 (3)工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続、後片付け等のみが残っている期間 (4)(1)又は(2)に類した理由で、工事が不稼働である期間 (5)橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間
	16　安全教育・訓練の実施	労働安全衛生法等に基づき行う日々の安全教育のほか、すべての作業員を対象に、工事現場に即した安全教育・訓練等を、月当たり4時間以上の頻度で実施するものとする。（「富山県土木工事共通仕様書」1-1-1-29 工事中の安全確保）
	17　調査・試験に対する協力	公共工事労務費調査等の対象工事となった場合は、監督職員の指示により必要な協力をしなければならない。（「富山県土木工事共通仕様書」1-1-1-13） ・本工事は、工事費積算のより一層の適正化を図ることを目的とした「共通費実態調査」の対象工事である。作成した調査票は監督職員へ提出すること。
	18　工事特性・創意工夫・社会性等の実施	受注者は、工事施工において、施工条件等への対応や自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目または地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、工事完成までに「富山県請負工事成績評定要領」第4第7項に定める様式により提出することができる。
	19　暴力団関係者から不当な介入を受けた場合の措置	受注者は、本工事を施工するに当たり、暴力団関係者から不当な介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否し、不当な介入があった時点で速やかにその旨を監督職員に報告するとともに、警察に届け出なければならない。また、下請業者に対しては、暴力団関係者から不当な介入を受けた場合には、速やかにその旨を報告するよう指導し、下請業者から報告を受けた受注者は、速やかにその旨を監督職員に報告するとともに、警察に届け出なければならない。
	20　低入札となった場合における技術者の増員等	1　工事に係る入札の結果、調査基準価格に満たない価格をもって入札をした者が受注者となった場合における技術者の配置については、次に掲げる場合の区分に応じ、それぞれ次に定めるところによる。 (1)　建設業法の規定により技術者の専任配置が義務付けられる工事の場合 専任配置が義務付けられている技術者とは別に、同法の規定により監理技術者の配置が義務付けられる工事にあっては監理技術者の資格を有する者を、それ以外の工事にあっては主任技術者になり得る資格を有する者を１人、専任にて配置するものとする。この場合において、これらの工事に配置する技術者は、受注者と３ヶ月以上の雇用関係がある者に限る。 (2)　建設業法の規定による技術者の専任配置が義務づけられていない工事の場合 同法の規定により配置が義務付けられている技術者を、専任にて配置するものとする。 2　１の(1)により別に配置される技術者は、監理技術者等を補助し、監理技術者等と同様の職務を行うものとする。 3　工事の品質を確保するため、特記仕様書に示される施工に関する試験基準を２倍の頻度をもって実施し、品質管理を行うものとする。
	21　間接工事費等の調整について	本工事は、富山県が先行発注した下の工事（以下、「現工事」という。）と当該追加工事の設計金額の合計額より定まる率によって算定した諸経費から、現工事にかかる諸経費等を控除した額で調整した金額とする。 工事番号：　　工事名：
	22　総合評価方式	1　受注者は、実際の施工に際しては、事前に提出し適正とされた技術資料（技術提案書又は簡易な施工計画）の内容を履行すること。 2　受注者は、事前に提出した総合評価方式に係る技術資料に記載した配置予定技術者を配置しなければならない。 3　なお、上記１、２を履行できない場合及び、受注者が事前に提出した総合評価方式に係る技術資料に記載した内容に虚偽の報告があった場合においては、富山県公共工事総合評価方式施行要領に基づき工事成績の減点（標準型においては、工事成績の減点及び違約金の徴収）をすることがある。 ・ 本工事は「登録基幹技能者の配置」を活用した試行工事とする。受注者は、下記工程において登録基幹技能者を配置する場合は、あらかじめ施工計画書により、登録者情報や配置予定期間、作業内容等を発注者に報告することとし、配置予定期間及び完成検査時において、発注者による履行の確認を行うこととする。なお、履行が確認できない場合、富山県公共工事総合評価方式試行要領に基づき工事成績の減点をすることがある。 対象工種　・○○工　・□□工　・△△工
	23　快適な仮設トイレの設置工事	・ この工事は「下請負契約における県内企業の活用」を評価の対象とした試行工事である。施工時及び完成検査時において、発注者による履行の確認を行うこととする。なお、受注者の責に帰すべき理由により、入札時の申請に反して、施工時に県内企業の活用ができなかった場合には、工事成績評定点を３点減点する。 本工事は、建設現場をより働きやすい環境に改善するため、受注者が希望すれば、快適に使用できる仮設トイレ（洋式トイレ・快適トイレ）を設置することができる工事である。 快適な仮設トイレの設置工事の実施にあたっては、「快適な仮設トイレの設置工事」についてのお知らせによるものとする。このお知らせは、下記富山県のホームページから入手できる。 （https://www.pref.toyama.jp/1510/sangyou/nyuusatsu/koukyoukouji/kj00017588.html）
	24　週休2日工事	週休２日工事の実施にあたっては、「週休２日工事（営繕工事）試行要領（令和６年５月　富山県土木部）に基づくものとする。この試行要領は、富山県土木部営繕課のホームページから入手できる。 （https://www.pref.toyama.jp/1508/kendodukuri/toshikeikaku/kenchiku/kj00021742.html） ※週休２日工事【発注者指定型】 本工事は、発注者が月単位の週休２日の実施を受注の条件とするものである。 ・週休２日工事【受注者希望型】 本工事は、受注者が工事着手日前に、発注者に対して、工事打合せ簿にて月単位の週休２日に取り組む旨を協議したうえで取り組むものである。 ・週休２日工事ではない ただし、受注者から希望があり、発注者と協議が整った場合は、週休２日工事【受注者希望型】と同様の取扱いができる。
	25　余裕期間制度	・フレックス方式対象工事 1　本工事は、円滑な工事施工体制の確保を図るため、全体工期の範囲内で受注者が工事の始期及び終期を設定することができる工事であり、富山県土木部所管建設工事に係る余裕期間制度（ﾌﾚｯｸｽ方式）試行要領に基づき実施するものとする。 2　工事の始期は、契約締結日の翌日から○年○月○日まで、工事の終期は、○年○月○日までとする。 3　受注者は、工事の始期後14日以内に施工計画書を発注者に提出するものとする。 4　受注者は、受注時のｺﾘﾝｽﾞ(CORINS)への登録については、工事の始期後10日（休日を除く。）以内に登録するものとする。 5　受注者は、工事の始期後に遅やかに、退職金制度届出書を発注者に提出するものとする。 6　余裕期間内に行う資機材の準備及び、技能労働者の手配などの準備等に必要な現地への立入り（工事着手以外の行為とする）については、発注者に了解を得るとともに関係法令等に基づく必要な手続きを行うものとする。 7　その他この特記仕様書に記載のないことについては、富山県土木部所管建設工事に係る余裕期間制度（ﾌﾚｯｸｽ方式）試行要領によるものとする。 ・発注者指定方式対象工事 1　本工事は、出水期や厳冬期などにより工事期間や工事の始期が限定されるという施工条件のもとで、円滑な工事施工体制の確保し、発注業務の計画的な履行と平準化を図るため、全体工期内で発注者が余裕期間と実工期を指定する富山県土木部所管建設工事に係る余裕期間制度（発注者指定方式）試行要領に基づき実施するものとする。 2　工事の始期は、○年○月○日とする。 3　受注者は、工事の始期後14日以内に施工計画書を発注者に提出するものとする。 4　受注者は、受注時のｺﾘﾝｽﾞ(CORINS)への登録については、工事の始期後10日（休日を除く。）以内に登録するものとする。 5　受注者は、工事の始期後に遅やかに、退職金制度届出書を発注者に提出するものとする。 6　余裕期間内に行う資機材の準備及び、技能労働者の手配などの準備等に必要な現地への立入り（工事着手以外の行為とする）については、発注者に了解を得るとともに関係法令等に基づく必要な手続きを行うものとする。 7　低入札価格調査等により、発注者が指定する工事の始期以降に契約を締結することとなった場合には、余裕期間を適用しないものとする。 8　その他この特記仕様書に記載のないことについては、富山県土木部所管建設工事に係る余裕期間制度（発注者指定方式）試行要領によるものとする。
	26　ウィークリースタンス	1　建設関係企業の担い手確保や生産性向上のため、この工事は受発注者間の仕事の進め方として、下記のとおり、ウィークリースタンスの取り組みに努めることとする。 （1）月曜日を依頼の期限日としない（マンデー・ノーピリオド） （2）水曜日は定時に帰宅できるよう必要な対応を心がける（ウェンズデー・ホーム） （3）金曜日に依頼しない（フライデー・ノーリクエスト） （4）昼休みや午後５時以降の打ち合わせをしない（ランチタイム・オーバーファイブ・ノーミーティング） （5）定時開際、定時後の依頼をしない（イブニング・ノーリクエスト） 2　この取り組みは、受発注者間の業務を進める上での姿勢を示したものであり、現場条件や企業の方針等により曜日の変更等を行うことができるものとする。 3　災害発生時などの緊急対応については、上記の限りではなく、受発注者が協力して臨機の対応を行うものとする。
	27　建設キャリアアップシステムの活用	1　受注者が建設キャリアアップシステム（以下「ＣＣＵＳ」という。）を活用する場合、ＣＣＵＳ活用に必要な現場経費の一部を設計計上する。 2　設計計上にあたっては、『「建設キャリアアップシステムを活用する工事における現場経費の設計計上について」のお知らせ』によるものとする。この お知らせは、富山県土木部建設技術企画課のホームページから入手できる。 （https://www.pref.toyama.jp/1510/kendodukuri/toshikeikaku/kenchiku/kj00040412.html）
	28　特例監理技術者及び監理技術者補佐の配置	※ 本工事において、建設業法第26条第３項ただし書きの適用を受ける監理技術者（以下、「特例監理技術者」という。）の配置を行う場合は、以下の(1)から(9)の要件を全て満たさなければならない。 (1)　建設業法第26条第３項ただし書きによる監理技術者の職務を補佐する者（以下、「監理技術者補佐」という。）を専任で配置すること。 (2)　監理技術者補佐は、１級建築施工管理技士補及び１級建築施工管理技士等の国家資格者、学歴や実務経験により監理技術者の資格を有する者であること。なお、監理技術者補佐の建設業法第27条の規定に基づく技術検定種目は、特例監理技術者に求める技術検定種目と同じであること。 (3)　監理技術者補佐は、受注者と直接的かつ恒常的な雇用関係にあること。 (4)　同一の特例監理技術者を配置できる工事は、同時に２件までとする。ただし、同一あるいは別々の発注者が、同一の建設業者と締結する契約工期の重複する複数の請負契約に係る工事であって、かつ、それぞれの工事の対象となる工作物等に一体性が認められるもの（当初の請負契約以外の請負契約が随意契約により締結される場合に限る。）については、これら複数の工事を一つの工事とみなす。 (5)　兼務する工事が特例監理技術者としての職務を適正に遂行できる範囲内にあること。なお、範囲については、工事現場が同一の土木センター、事務所管内にあること。 (6)　特例監理技術者が兼務できる工事は、24時間体制での応急処理工や緊急巡回等が必要な工事以外の工事でなければならない。 (7)　特例監理技術者は、施工における主要な会議への参加、現場の巡回及び主要な工程の立会等の職務を適正に遂行しなければならない。 (8)　特例監理技術者と監理技術者補佐との間で常に連絡が取れる体制であること。 (9)　監理技術者補佐が担う業務について、明らかにすること。 ※　本工事の監理技術者が特例監理技術者として兼務することとなる場合、上記(1)から(9)の事項について、確認できる書類を提出すること。 ※　本工事において、特例監理技術者及び監理技術者補佐の配置を行う場合又は配置を要さなくなった場合は、適切にｺﾘﾝｽﾞ(CORINS)への登録を行うこと。
	29　提出図書等	標準仕様書によるほか次による。 第１章　・原図版　１部　・縮小版　６部
	(1)　設計図の製本	
	(2)　工事写真	写真種別 / 撮影個所数 / 提出規格 / 拡張子 / 構成 / 備考 着工前写真 / 適正数 / L版程度(3枚/頁) / PDF / ※着工前と完成写真を対比したもの・完成写真のみ（新築の場合） / デジタルカメラは、130万～300万画素にて撮影 完成写真 / 適正数 / 施工中写真 / 適正数 / ― / JPEG / ―
	(3)　機材の仕様	主要な機材については、発注前に納入仕様書等を提出し、監督職員の確認を受ける。
	(4)　その他	監督職員の指示する書類。
	(5)　完成時の図書	・ 完成図（設計図及び施工図を黒表紙に製本したもの）　・ 原図版　１部　・ 縮小版　２部 ・ 完成図CADデータ（　CD-R　1枚×2部　） ・ 保全に関する資料
	30　電子納品	・ 電子納品対象工事（以下に記す書類を電子納品する。） ・　工事写真　・　施工計画書　・　完成図(CADデータ)　・　参考図(ラスターデータ)
	31　建設現場の遠隔臨場に関する試行工事	本工事は、受発注者の移動時間の削減のため、「建設現場の遠隔臨場に関する施行要領（令和６年４月富山県土木部）」の内容に従い、実施することができる。
⊙一般共通事項2	①適用基準等	⊙ 国土交通大臣官房官庁営繕部「営繕工事写真撮影要領による工事写真撮影ガイドブック 電気設備工事編　令和5年版」 ・ 国土交通大臣官房官庁営繕部「営繕工事写真撮影要領による工事写真撮影ガイドブック 機械設備工事編　令和5年版」 ・ 富山県電子納品運用ガイドライン(案)【建築工事編】（令和５年４月）
	②施工条件	施工時間、工程、安全対策、工事用道路、仮設設備等は監督職員と協議する。
	③技能士の適用	・ 配管技能士（ ・ １級　・ ２級 ）　・ 熱絶縁施工技能士（ ・ １級　・ ２級 ） ・ 建築板金技能士（ ・ １級　・ ２級 ）　・ 冷凍空気調和機器施工技能士（ ・ １級　・ ２級 ） 一般用電気工作物及び自家用電気工作物においては、法令で定める電気工事士とする。なお、需要設備500kW以上の自家用電気工作物においても、第一種電気工事士により施工を行うものとする。
	④施工従事者	
	5　仮設備	仮設備期間（ ・ 図示　・　・　・　）
		仮設備項目（ ・ 受変電設備　・ 発電設備　・　・　）
	6　認定リサイクル製品の使用	・ 下記の品目については、「公共工事における富山県認定リサイクル製品利用方針」において優先利用グループに区分されている製品を使用する。 工種 / 品目 / 規格 ※ただし、その製品の入手が困難な場合は、監督職員と協議し、通常製品(新材で製造された製品)へ変更できるものとする。 ・ 「公共工事における富山県認定リサイクル製品利用方針」に基づき、パイロット工事として下記の製品を使用する。 工種 / 品目 / 規格 / 製品名
	⑦建築工事との取合	工事区分表によるほか、次による。
	(1)　開口部補強筋	補強を要する鉄筋コンクリート躯体(梁、壁、床)の貫通スリーブ補強筋は ⊙別途 ・本工事）とする。 壁、床貫通の仮枠(盤類、ダクト、吹出口、大便器、換気扇等)の補強筋は ⊙別途 ・本工事）とする。
	(2)　機器の基礎	屋上基礎 ⊙別途 ・本工事）　屋内基礎 ⊙別途 ・本工事）　屋外基礎 ⊙別途 ・本工事）
	⑧足場、さん橋類	⊙ 関連工事の関係受注者が定置したものは、無償で使用できる。 ・ 本工事で設置とする。（改修標準仕様書第1編2.2.1によるほか下記による。） ・ 内部足場（脚立、足場板等）　・ 外部足場（・枠組足場　・くさび緊結式足場　・単管本足場） ※足場の設置においては、「手すり先行工法による足場の組立等に関する基準」におけるの(1)手すり据置き方式又は(2)手すり先行手用足場方式により行うものとする。
	⑨建築物又は工作物の解体等の作業	石綿等が使用されている場合、石綿障害予防規則に基づき、作業を行うこと。また、解体等の作業における保護具の装着・湿潤を保つ費用、石綿の使用の有無を分析によって調査した場合に要する費用等及びそれらに費やす工期については、監督職員と協議を行うこと。
	⑩土工事	
	(1)　残土処理	⊙ 構内敷きならし　・ 構内の指定場所に堆積 ⊙ 構外搬出適切処理（受入れ場所：公共残土置き場　　） ※構外搬出の場合は関係法令に従い適切に処理するとともに、建設発生土情報交換システム及び公共工事土量調査システムを活用し、建設発生土の需給調整に努めること。
	(2)　埋め戻し及び盛土	⊙ 規切り土の良質土　・ 山砂
	(3)　地業工事	砂利事業（ ・ 切り込み砂利　・ 切り込み砕石　・ 再生クラッシャラン ）
	⑪管の地中埋設深さ	(電気設備)　原則として、管の上端より一般敷地では600mm以上、車両通路では800mm以上とする。 (機械設備)　埋設深さ（管の上端深さ）は原則として、車両通行部分は（ ・ 600mm　・　・　）、その他の部分は（ ・ 450mm　・　・　）以上とする。
	⑫地中埋設標等	1　地中埋設標　⊙ 要（図示による）　・ 不要 2　埋設表示テープ　⊙ 要　・ 不要
	13　埋設管の防食処理	標準仕様書の2編2.7.1、2.7.2及び2.7.3による。
	14　ビニル管の布設	砕石100mm、山砂管上100mmとする。
	15　マンホール蓋	MHA形、MHB形及びMHD形は富山県章入り（鋳出し）とする。
	16　配管	1　建物導入部の変位吸収方法は標準図(建築物導入部の変位吸収配管要領)による。 ・ (a)　・ (b)　・ (c) 2　溶接部の非破壊検査　・ 要（抜取率　・標準仕様書による　・　%）
	17　コンクリート工事	
	(1)　普通コンクリート	・ レディミクストコンクリート（ ・ Ⅰ類　・ Ⅱ類 ）　⊙ 現場練りコンクリート コンクリート設計基準強度（ ・ 18N/mm2-15-25(捨てコン) ・ 21N/mm2-15-25　・ 24N/mm2-15-25） 構造体コンクリートの強度補正値 打設日 / 3/10～7/6 / 7/7～9/5 / 9/6～11/19 / 11/20～3/9 補正値 / 3 N/mm2 / 6 N/mm2 / 3 N/mm2 / 6 N/mm2
	(2)　鉄筋	コンクリート強度試験（ ・ 実施する　・ 省略する ） ・ 異形鉄筋（ ・ SD295A　・ SD345 ）
	⑬耐震安全性の分類と耐震施工	設備機器の固定は、施設の分類に並びに機器の種別、重要度及び設置階に応じて、次の設計用水平地震力及び設計用鉛直地震力に対し、移動、転倒、破損等が生じないようにする。 1）設計用水平地震力 機器の重量[kgf]に、設計用水平震度を乗じたものとする。なお特記なき場合、設計用水平震度は次による。水槽類は満水時の液体重量を含む総重量とする。 設計用水平震度
		設置場所 / 機器種別 / 特定の施設 重要機器 / 特定の施設 一般機器 / 一般の施設 重要機器 / 一般の施設 一般機器 上層階、屋上及び塔屋 / 機器 / 2.0 / 1.5 / 1.5 / 1.0 上層階、屋上及び塔屋 / 防振支持の機器 / 2.0 / 1.5 / 2.0 / 1.5 上層階、屋上及び塔屋 / 水槽類 / 2.0 / 1.5 / 1.5 / 1.0 中間階 / 機器 / 1.5 / 1.0 / 1.0 / 0.6 中間階 / 防振支持の機器 / 1.5 / 1.5 / 1.5 / 1.0 中間階 / 水槽類 / 1.5 / 1.0 / 1.0 / 0.6 地下・１階 / 機器 / 1.0 / 0.6 / 0.6 / 0.4 地下・１階 / 防振支持の機器 / 1.0 / 1.0 / 1.0 / 0.6 地下・１階 / 水槽類 / 1.5 / 1.0 / 1.0 / 0.6
		重要機器　⊙ 配電盤　・ 受変電設備　・ 発電設備 (電気設備)　・ 直流電源装置　・ 交流無停電電源装置　・ 交換機 ・ 火災報知受信機　・ 中央監視装置　・ 重要機器　・ 水槽類（ ・　・　・　・　） (給排水衛生設備)　・ 消火設備機器　・ 重要機器　・ ボイラー　・ 冷凍機　・ 冷温水機　・ 冷却塔 (空調設備)　・ 中央監視装置　・ 空気調和機（ ・ ﾕﾆｯﾄ形　・ ｺﾝﾊﾟｸﾄ形　・ ﾊﾟｯｹｰｼﾞ形） ・ 水槽類（ ・　・　・　・　）　・ 排煙設備機器 注1）上層階の定義は次による。 ２～６階建の場合は最上階、７～９階建の場合は上層２階、10～12階建の場合は上層３階、13階以上の場合は上層４層とする。 注2）水槽類はオイルタンク等を含むものとする。 2）設計用鉛直地震力 設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 3）あと施工アンカー 施工後確認試験　・ 要（引張試験機による引張試験）　⊙ 不要 ※機器据付にかかるものは事前に鉄筋探査を実施する。
	19　運転操作説明板	系統図、機器等の取り扱い方法及び重要な定期点検項目を書いたアクリル樹脂製の運転操作説明板を機械室に設ける。説明板の大きさは約　㎡とする。
	20　総合調整	・ 本工事　・ 別途 調整項目（測定箇所等は監督職員の指示による。） (給排水衛生設備) ・ 水量調節　・ 騒音の測定 ・ 飲料水の水質の測定 （ ・ 水質基準に関する省令(平成15年厚生労働省令)に基づく50項目及び消毒の残留効果 ・ 建築物における衛生的環境の確保に関する法律施行規則第4条第3項イで定められた16項目 ） (空調設備) ・ 風量調節　・ 水量調節　・ 室内外空気の温湿度の測定 ・ 室内気流及びじんあいの測定　・ 騒音の測定
	21　容量等の表示	1　機器類の能力、容量等(電動機出力を除く)は原則として表示された数値以上とする。 2　電動機の出力は原則として表示された出力以下の容量とする。
	22　保温	1　材料・施工順序及び厚さは特記がなければ標準仕様書第2編第3章の表2.3.1～2.3.7による。 なお、保温材は原則としてグラスウール保温材を使用するものとし、温水・蒸気・給湯以外の暗渠内（ピット内を含む）及び屋外多湿箇所はポリスチレンフォーム保温材を使用するものとする。また、排煙ダクト及び煙道はロックウール保温材を使用するものとする。 2　合成樹脂製カバーは、（ ・ シートタイプ　・ ジャケットタイプ ）を使用するものとする。
	23　弁類の保護カバー	3　井水管の保温種別については冷水管の保温種別によるものとする。 給水、井水用の配管で呼び径65以上の弁、ストレーナ等は、ビス等により容易に着脱できる金属製のカバーによる外観仕上げを施す。なお、屋内用は（ ・カラー亜鉛鉄板　・　・　）、屋外及び多湿箇所は（ ・ ステンレス鋼板　・　・　）とする。
	㉔塗装及び防錆工事	1　適用の基準は以下の通りとする。 ・ 機械設備：標準仕様書第２編第３章第２節による。 ⊙ 電気設備：標準仕様書第１編第２章第７節による。 ㉕ 屋外及び多湿箇所の支持架台等は溶融亜鉛めっき鋼材(HDZ35以上)またはステンレス鋼材を使用する。 3　次の箇所の保温しない配管及びダクトは塗装不要とする(ただし、SGP-黒管及びSTGP370-黒管は除く)。・ 機械室内　・（　　）
	25　はつり	1　既存コンクリート床及び壁の配管用貫通部のハツけは、ダイヤモンドカッターによる。 2　事前に走査式埋設物調査を行い、監督職員に報告を行う。
	㉖スリーブ	⊙ 紙製（一般床、壁）・ 鋼製（梁、水密を要する地中等）・ 塩ビ製（水密を要しない地中等）
	㉗試験	1　各種配管の試験は、新設配管に適用する。 2　新設配管は、既設配管との接続前に試験を行う。
	㉘電気工事	① 機器付属の制御盤及び操作盤以降の電気配管、配線は（⊙ 本工事　・ 別途工事）とする。 ② 制御盤及び操作盤に付属する機器の接地は（⊙ 本工事　・ 別途工事）とする。
	29　吊り及び支持金物	（ ・ 地中、構内、ピット内　・　・　）の吊り金物・支持金物類はステンレス鋼製(SUS304)とする。
・撤去工事	1　撤去内容	図示による。
	2　アスベスト含有調査等	施工調査 ※石綿含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等により石綿を含有しているか吹き付け材、成形板及び建築材料等の使用の有無について調査する。 調査範囲（ ・　・図示　）貸与資料（　　） ・分析による石綿含有建材の調査 ※ 分析方法：定性分析はJIS A1481-1又はJIS A1481-2、定量分析はJIS A1481-3又はJIS A1481-4による。分析結果については、監督職員に報告すること。 ・施工は大気汚染防止法、廃棄物処理法、労働安全衛生法、石綿障害予防規則（H17年厚生労働省令第21号。以下「石綿則」という。）その他石綿処理に関する諸法令等に基づき、施工を行う。
	3　冷媒（フロン類）の回収	1　冷凍機等の撤去に伴う冷媒の回収方法は、平成19年10月1日改正の「特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律」による。 ただし、冷媒の回収等の費用は（ ・ 本工事　・　・ 別途 ）とする。 2　冷媒の回収にあたっては、監督職員に次の書類を提出する。 （ア）第一種フロン類回収業者登録通知書の写し （イ）フロン類引取証明書 （ウ）特定家庭用機器廃棄物管理表（家電リサイクル券）の写し（家庭用エアコン等の場合）
	4　発生材の処理等	・ 引渡しを要するもの（ ・ 図示による　・ PCB含有物　　） ・ 特別管理産業廃棄物（　　） 同上の処理方法　（　　） ・ 再資源化を図るもの（　　）

山口設計
富山県黒部市田家新899-1
ｔｅｌ (0765)52-1180
Ｆａｘ (0765)57-2280
１級建築士登録　第362617号　管理建築士　山口　朋文

設計　山口 朋文　１級建築士登録第362617号	記事	工事名称　黒部商工会議所会館 新築工事	日付　2025.06
担当　横田 大輔		図面名称　設備工事特記仕様書（共通事項）	縮尺　A1：― A3：―

図面番号　E-01　意匠

・電気設備　工事種目（○印をつけたものを適用する。）

- ○電灯設備
- ○動力設備
- ・雷保護設備
- ・受変電設備
- ・電力貯蔵設備
- ・発電設備
- ○構内交換設備
- ○情報通信網設備
- ○映像音響設備
- ○拡声設備
- ・誘導支援設備
- ○テレビ共同受信設備
- ○監視カメラ設備
- ・防犯・入退室管理設備
- ・火災報知設備
- ○構内配電・通信線路

○電気設備

①呼び線及び予備配管	長さ1m以上の入線しない管路には、1.2mの以上のビニル被覆鉄線を入線する。埋込分電盤からの立上り
②電線本数、管路等 ケーブルの種類	予備配管は、予備の配線用遮断器4個以下の場合(25)を1本、5個の場合(25)を2本、天井まで立上げる。 分電盤、制御盤及び端子盤等の二次側以降の配管・配線は、経路、電線太さ、電線本数及び管径等は監督職員の承諾を受けて変更しても差し支えない。 また、機械室等の床配線は図面上PF管で記載している場合であっても、立上部分等の露出配管部分は金属管とし、その場合は全長にわたって接地線を設ける。
③金属管の塗装仕上げ	次の箇所の露出配管は塗装を行う。 ・屋外　○屋内（　　） ○塗装を行わない厚鋼電線管は、溶融亜鉛めっき仕上げ付着量300g/m2以上のものとする。
④フラッシュプレート	○新金属製　○ステンレス製(スイッチのみ)(参考：神保電器Jワイドスリムサスト)　・樹脂製
５ 再使用機器	取外し再使用機器は清掃、絶縁測定のうえ取付ける。
⑥保温、結露防止	外気に面する壁・天井で、内断熱施工される構造体のコンクリートに埋込むボックス等には、断熱材等を取り付ける。
７ 高圧交流遮断器	操作方式（・電気操作方式　・手動ばね操作方式　）
８ 消火器	適用範囲（・受変電設備　・発電設備　） ・ABC粉末消火器　10号　1本 ・消火器収納箱　1本入　1個　（・鋼板製　・SUS製 ） ・表示板　（・鋼板製　・SUS製　・アルミ製 ）
９ 電話機への配線	・内線電話機1台につき、EM-TIEF0.65-20を2mを見込む。 ・ボタン電話機1台につき、電子ボタン電話用ケーブルEM-EBT0.4-4Cを2mを見込む。
10 火災報知設備用総合盤	・消火栓箱(別途)に組込　・専用
11 ガス漏火災警報装置	ガス種類　・都市ガス　・LPガス 監視方式　・個別式　・集中監視式 ・受信機(　型　級　回線)　・火報盤と一体　・単独
12 ハンドホール	・標準図による
13 地中埋設標等	(1)地中埋設標　・要（図示による）　・不要 (2)埋設表示テープ　・要　・不要
14 取付高さ	壁付、壁掛形の機器等の取付高さは、図面に記載のない場合は原則として下表による。

名称	測点	取付高[mm]
ブラケット（一般）	床上～中心	2,100
〃　（踊場）	〃	2,500
〃　（鏡上）	鏡上端～中心	150
スイッチ（一般）	床上～中心	1,200
〃　（多機能便所用）	〃	1,200
ｺﾝｾﾝﾄ,電話用ﾌﾟﾗｸﾞｾｯﾄ,ﾃﾚﾋﾞ端子（一般）	〃	400
〃　（和室）	〃	150
〃　（台上）	台上～中心	150
ｺﾝｾﾝﾄ（土間）	床上～中心	800～1,300
引込開閉器箱（定圧）	床上～上端	1,500
分電盤,制御盤,実験盤	床上～中心	1,500(上端1,900以下)
開閉器箱	〃	1,500
電磁開閉器用押しボタン	〃	1,200
接地用端子箱	地上,床上～中心	500
試験用接続端子箱	床上～下端	800
接地極埋設標	地上～中心	600
給油ボックス	地上～給油口	1,000
室内端子盤（廊下・室内）	床上～下端	300
中間端子盤（EPS・電気室）	床上～中心	1,500
壁付電話機	〃	1,300
親時計	〃	1,500(上端1,900以下)
子時計,スピーカ	天井下～上端	100
アッチネータ	床上～中心	1,200
表示盤	天井下～上端	100
発信器（出退表示用）	床上～中心	1,200
外部受付用インターホン（子機）	〃	標準図による
壁付インターホン（上記以外）	〃	1,100
呼出ボタン（多機能便所用）	〃	900(400)
復帰ボタン（　〃　）	〃	1,300
廊下表示灯（　〃　）	〃	2,000
テレビ機器収容箱	天井下～上端	200
火報受信機（複合盤）	床上～操作部	800～1,500
副受信機	床上～中心	1,500
自動通報機器収容箱	〃	800～1,500
発信機	〃	800～1,500
警報ベル	〃	(天井高)×0.9
表示灯	〃	〃(天井高)×0.8
連動制御器（自動閉鎖）	〃	1,500
ガス漏れ検知器（重ガス）	〃	300
〃　（軽ガス）	天井面～中心	(天井面)-200

（備考）　天井面を基準とする取付高は、天井高さが2,500mmから3,000mmの場合に適用する。
天井高が3,000mm以上の場合及び機器の使用に支障が生じる場合は、監督員と協議する。
壁付呼出押ボタン（多機能トイレ）の取付高さ(400)は床に転倒した時を考慮した高さを示す。

15 電線類　二重床内に配線するEM-UTPケーブルは、用途に応じ色分けすること。

16 二重床内器具　二重床内に設置する器具の位置表示としてマーキングを、直上の天井面につけること。また、用途に応じ色分けすること。

・給排水衛生設備　工事種目(○印をつけたものを適用する。)

- ・衛生器具設備
- ・給水設備
- ・排水設備
- ・給湯設備
- ・消火設備
- ・消火器設備
- ・厨房設備
- ・ガス設備
- ・さく井設備
- ・融雪設備
- ・浄化槽設備

・衛生器具設備

1 衛生器具付属水栓	水抜栓を使用する場合、水栓は固定こま式とする。
2 洗面器	手洗器は止水栓付とする。
3 衛生器具ユニット	別図による。(ユニット内配管材料共)
4 浴室・シャワーユニット	別図による。
5 和風大便器耐火カバー	・設ける（ピット内は除く）　・設けない

・給水設備

1 給水方式	・上水（・水道直結　・高置水槽　・圧力水槽　・加圧給水 ） ・井水（・高置水槽　・圧力水槽　・加圧給水 ）
2 配管材料	給水引込管は水道事業者の指定によるものとし、材質は（・図示　・　　）とする。 屋内配管　・ポリ粉体鋼管（SGP-PB）　・塩ビライニング鋼管（SGP-VB） 地中埋設配管　・ポリ粉体鋼管（SGP-PD）　・塩ビライニング鋼管（SGP-VD） ・耐衝撃性硬質塩化ビニル管（HIVP） 給水管の最小口径は20mmとする。 井水管の吊りバンド等の支持部は、合成樹脂製の支持受けを使用する。
3 量水器	・親メーター（・貸与品　・　　）　・子メーター（・買取り　・　　）
4 量水器桝	・水道業者指定品（・貸与品　・買取り ）　・標準図ＭＣ型
5 弁類	・逆止弁の衝撃吸収式はライニング不要とする。 ・ステンレス配管を使用する場合の材質はステンレス製とする。 図面に記載のない場合の耐圧は下記による。 水道直結部分　JIS又はJV（・5K　・10K ） その他の部分　JIS又はJV（・5K　・10K ）
6 弁桝	・標準図による。
7 絶縁継手	図示の位置に取り付ける。
8 水栓	・台所流し用の水栓は泡沫式とする。 ・水抜栓を使用する場合、水栓は固定こま式とする。（・ただし屋外に設ける場合は耐寒水栓とする ）
9 水栓柱	・合成樹脂製　・
10 引込納付金等	・要（・別途　・本工事 ）　・不要

・排水設備

1 排水方式	汚水放流先　（・公共下水　・浄化槽　・　　） 雑排水放流先（・公共下水　・合併処理浄化槽　・側溝等　） 化学排水　（　　）
2 配管材料	雑排水　・配管用炭素鋼鋼管（SGP-白） ・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管（DVLP） ・硬質塩化ビニル管（VP）　・耐火二層管（VP） 汚水　・排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管（DVLP） ・硬質塩化ビニル管（VP）　・耐火二層管（VP） 通気　・配管用炭素鋼鋼管（SGP-白）　・硬質塩化ビニル管（VP）　・耐火二層管（VP） 屋外排水　・硬質塩化ビニル管（VU）　・硬質塩化ビニル管（VP） ・遠心力鉄筋コンクリート管(B型)
3 洗面器等の排水管	・洗面器及び洗面器に直結する排水管寸法は、器具トラップより1サイズアップとする。 ・流し台等の床上露出部の配管は、蛇腹管の使用は禁止とする。
4 凍水試験継手	図示の位置に取り付ける。
5 放流納付金等	・要（・別途　・本工事 ）　・不要

・給湯設備

1 配管材料	・一般配管用ステンレス鋼鋼管（呼び径60Su以下は拡管式）　・銅管（硬質(M)）
2 絶縁継手	取り付ける（鋼製ボイラ、熱交換器などに異種金属管を接続する場合）
3 弁類	図面に記載のない場合の耐圧は、JIS又はJV 5Kとする。 ・ステンレス鋼管に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。
4 ガス湯沸器	使用するガス（・都市ガス　・液化石油ガス ）
5 ガス湯沸器の接続	給湯管及び給水管の接続は、ステンレス製フレキシブルチューブを使用してよい。
6 保温	湯沸器の給排気筒（二重管）の隠ぺい箇所は保温を行う。なお、保温の種別は標準仕様書第2編3.1.5表2.3.5のh-(ｲ)-DCとする。

・消火設備

1 消火設備の種類	・屋内消火栓　・連結送水管　・屋外消火栓　・スプリンクラー ・不活性ガス消火　・泡消火　・粉末消火　・連結散水 ・フード等用簡易自動消火
2 配管材料	・配管用炭素鋼鋼管（SGP-白） ・圧力配管用炭素鋼鋼管（STPG 370 白管 Sch80）（不活性ガス消火） ・消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（SGP-VS）（地中配管用）
3 保温	原則として保温は行わない。ただし、屋外露出配管（弁類含む）は防凍保温を行うものとし、仕様は給水管の項による。
4 地中埋設標等	1 地中埋設標　・要（図示による）　・不要 2 埋設表示テープ　・要　・不要

・消火器設備

1 機械室	・ABC粉末消火器　号　本 ・消火器収納箱　本入　個（・鋼板製　・SUS製 ） ・表示板　（・鋼板製　・SUS製　・アルミ製 ）
2 貯油槽施設	・ABC粉末消火器　号　本 ・消火器収納箱　本入　個（・鋼板製　・SUS製 ） ・表示板　（・鋼板製　・SUS製　・アルミ製 ）

・厨房設備

1 システム	・ドライシステム　・
2 機器の寸法	概略寸法とする。
3 機器機能等	図示による。

・ガス設備

1 使用ガス	・都市ガス（発熱量：　MJ/Nm3 ）　・液化石油ガス
2 配管材料	・配管用炭素鋼鋼管（SGP-白）　・圧力配管用炭素鋼鋼管（STPG） ・ポリエチレン被覆鋼管（PLS）（地中配管用） ・ガス用ポリエチレン管（PE）（地中配管用・ロケーティングワイヤー共）
3 ガス集合装置	・本工事（　本組）　・別途工事 ・標準図「液化石油ガス容器廻り配管要領」による　・設計図による
4 ガスメーター	・本工事　・貸与
5 充てん容量	別途（・50kg　・　）×　本
6 転倒防止等	標準図「液化石油ガス容器転倒防止施工要領」の（・(a)　・(b) ）による。
7 地中埋設標	設置する（埋設シート共）
8 漏洩検知装置	・要　・不要
9 電気防食	・要　・不要
10 引込負担金	・要（・別途　・本工事 ）　・不要

・融雪設備

1 配管材料	送水管　・ 散水管　・
2 ノズル・ドレン	材質は　　とし、形式は図示による。
3 弁類	・図示による　・図面に特記のない場合の耐圧は、JIS又はJV 5Kとする。

・浄化槽設備

1 対象人員及び型式等	図示による。
2 消毒剤	1ヶ月相当分以上を納入する。
3 試験運転調整	浄化槽使用開始3ヶ月後、1回放流水質の測定結果を報告する。

・空調設備　工事種目(○印をつけたものを適用する。)

- ・空気調和機設備
- ・空調ダクト設備
- ・ボイラー及び付属機器設備
- ・冷熱機設備
- ・換気設備
- ・換気ダクト設備
- ・排煙設備
- ・排煙ダクト設備
- ・自動制御設備

・空気調和設備

1 設計温湿度	

	外気		室内			
			一般系統			
	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)
夏季	35.1 ℃	60.4 %	℃	%	℃	%
冬季	-1.4 ℃	78.1 %	℃	%	℃	%

2 煙道	
(1) 付属物	伸縮継手、排除口の取付位置は図示による。
(2) ばいじん濃度計	ばいじん濃度計を(・設ける　・設けない) ばいじん量測定口は口径80mmとし、取付け位置は煙道の直線部分とする。
3 ダクト	・低圧ダクト（・ｱﾝｶﾞﾙﾌﾗﾝｼﾞ工法　・ｺｰﾅｰｶﾞｽﾄ工法（・共板ﾌﾗﾝｼﾞ　・ｽﾗｲﾄﾞｵﾝﾌﾗﾝｼﾞ ）） ・高圧１ダクト(適用範囲は図示による) ・ステンレスダクト及び塩化ビニルダクトの仕様及び適用範囲は図示による。
4 風量測定口	・取付位置は図示による。 ・次の位置に取付ける。（・外気ダクト　・還気ダクト ・空調機の吐出、吸込ダクト ・分岐ダクト ）
5 チャンバー	1 内貼を施すチャンバーの表示寸法は外寸法を示す。 2 空気調和機に取り付けるサプライチャンバー、レタンチャンバー及びダクト系で消音内貼りしたチャンバーには、点検口を設ける。点検口の大きさは図示による。 3 外壁に面するダクトに直接取り付けるチャンバー及びホッパーには排水管(呼び径20)を取付け、屋外又は間接排水口に導く。
6 ダンパー	1 防煙ダンパー　復帰方式（・遠隔　・　） 煙感知器、連動制御器及び配管配線は（・別途　・本工事 ）とする。 2 ピストンダンパー　復帰方式（・遠隔　・　）
7 配管材料	冷温水管　・配管用炭素鋼鋼管（SGP-白） 冷却水管　・SGP-VA　・SGP-PA　・SGP-白 油管　・配管用炭素鋼鋼管（SGP-黒　屋内配管） ・合成樹脂外面被覆配管用炭素鋼鋼管（PLP　地中埋設） 蒸気往管　・配管用炭素鋼鋼管（SGP-黒） 蒸気還管　・圧力配管用炭素鋼鋼管（STGP370　黒管　Sch40）　・ステンレス鋼管（SUS304） 膨張管　・配管用炭素鋼鋼管（SGP-白） 冷媒管　・断熱材被覆銅管　・銅管 ドレン管　・VP管　・耐火二層管　・配管用炭素鋼鋼管（SGP-白）
8 弁類	・図示による　・図面に特記なき場合の耐圧は、JIS又はJV 5Kとする。 ・鋼管用伸縮管継手の種類は図示による。 ・ステンレス鋼管に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。
9 温度計	次の位置に取り付ける。なお、温度計は円形指示計とする。 ・冷凍機の冷水管（送り、返り）及び冷却水管（送り、返り） ・吸収冷温水機の冷温水管（送り、返り）及び冷却水管（送り、返り） ・ボイラーの温水管（返り） ・空気調和機の冷温水管（送り、返り）及び三方弁装置後の冷温水管（返り） ・熱交換器の温水管（送り、返り） ・冷温水ヘッダー(往)冷温水ヘッダーの各返り管 ・空気調和機(パッケージ型を含む)のサプライチャンバー、レタンダクト、外気取り入れダクト及びレタンチャンバー
10 圧力計	次の位置に取り付ける。 ・冷凍機の冷水管（送り、返り）及び冷却水管（送り、返り） ・空気調和機の冷温水管（送り、返り） ・吸収冷温水機の冷温水管（送り、返り）及び冷却水管（送り、返り） ・熱交換器の温水管（送り、返り）
11 瞬間流量計又は瞬間流量計取付用タッピング	次の管に取り付ける。なお、瞬間流量計はピトー管方式によるもので止水コック付とする。 ・冷凍機の冷水管及び冷却水管（送り又は返り）に（・流量計 ・タッピング）を設ける。 ・吸収冷温水発生機の冷温水管及び冷却水管（送り又は返り）に（・流量計 ・タッピング）を設ける。 ・空気調和機の冷温水管（送り又は返り）に（・流量計 ・タッピング）を設ける。 ・冷温水ヘッダーの（・各送り管 ・各返り管）に（・流量計 ・タッピング）を設ける。
12 遠隔油量指示計	図示の位置に取り付ける。
13 絶縁継手	図示の位置に取り付ける。
14 保温及び遮音	1 材料・施工順序及び厚さは特記がなければ標準仕様書第2編第3章の表2.3.1～2.3.7による。なお、保温材は原則としてグラスウール保温材を使用するものとし、温水・蒸気・給湯以外の暗渠内（ピット内を含む）及び屋外多湿箇所はポリスチレンフォーム保温材を使用するものとする。また、排煙ダクト及び煙道はロックウール保温材を使用するものとする。 2 合成樹脂製カバーは、（・シートタイプ　・ジャケットタイプ ）を使用するものとする。 3 井水管の保温種別については冷水管の保温種別によるものとする。 4 標準仕様書第2編3.1.4によるほか、下記による。 ・外気取入ダクトの保温要（・全て　・　） ・排気ダクトの保温要（・外壁から1m　・　） ・返りダクトの保温要 ・隠蔽ダクトのフランジ部(補強を含む)は厚さ25mmの保温を重ね巻きを行うか、保温厚さをフランジ高さ+10mm以上とする。 ・チャンバー及びダクトの消音内貼り(図示個所)を施した部分は外部の保温を不要とする。 ・暖房する室(天井内含む)の蒸気立管及び分岐管は保温を施す。 ・建物内の空気抜き弁までの配管の保温は、(2.3.1.4)の温水管の項による。 ・空気調和機及びファンコイルユニットの排水管の保温は、(2.3.1.5)の排水管の項による。 ・露出部の冷媒管の外装は（・図示　・保温化粧ケース　・SUSラッキング）とする。 屋外に保温化粧ケースを使用する場合は、ケース内に水が侵入しないよう必要に応じてシールする。 SUSラッキング内部はポリスチレンフォーム保温筒で保護する。
15 弁類の保護カバー	温水、蒸気、冷水、冷温水用の配管で呼び径65以上の弁、ストレーナ等は、ビス等により容易に着脱できる金属製のカバーによる外装を施す。なお、屋内用は（・カラー亜鉛鉄板　・　　）、屋外及び多湿箇所は（・ステンレス鋼板　・　　）とする。

・換気設備

1 ダクト	・低圧ダクト（・ｱﾝｶﾞﾙﾌﾗﾝｼﾞ工法　・ｺｰﾅｰｶﾞｽﾄ工法（・共板ﾌﾗﾝｼﾞ　・ｽﾗｲﾄﾞｵﾝﾌﾗﾝｼﾞ ）） ・厨房系統の排気用ダクトは、標準仕様書第3.2.2のダクトの板厚の項より1段手厚いものを使用する。
2 風量測定口	図示した位置に取り付ける。
3 ダンパー	空気調和設備の当該項目による。
4 シールする排気ダクトの系統	・厨房系統　・浴室（シャワー室、脱衣室を含む）系統
5 チャンバー	空気調和設備の当該項目による。
6 保温	次のダクトは保温を行う。 ・外気ダクト（図示なき場合は全て。全熱交換ユニットの二次側含む。） ・多湿箇所のダクト（範囲は図示による。） ・排気ダクトの保温要（範囲は（・外壁から1m ・図示による。））
7 24時間換気	各居室において、換気量を測定し、必要換気回数以上であることを確認し、監督職員に報告すること。

・排煙設備

1 ダクト	・亜鉛鉄板　・普通鋼板(厚1.6m)
2 排煙口の形式	図示による。
3 排煙口開放及び復帰方式	・電気式（遠隔操作　要　・不要）　・ワイヤー式
4 排煙風量測定	建築設備定期検査業務基準書（2016年版）（(一財)日本建築設備・昇降機センター)の排煙風量の検査方法に準じる。

・自動制御設備

1 システム構成その他	図示による。
2 電気計装用機材	1 使用する電線類は EM電線とし、規格は標準仕様書第4編表4.1.11による。（機器、盤類を除く。） 2 屋外・屋内露出の電線は、図面に特記がなければ金属管配線とする。 3 天井内隠ぺいの配線は、図面に特記がなければケーブル配線とする。

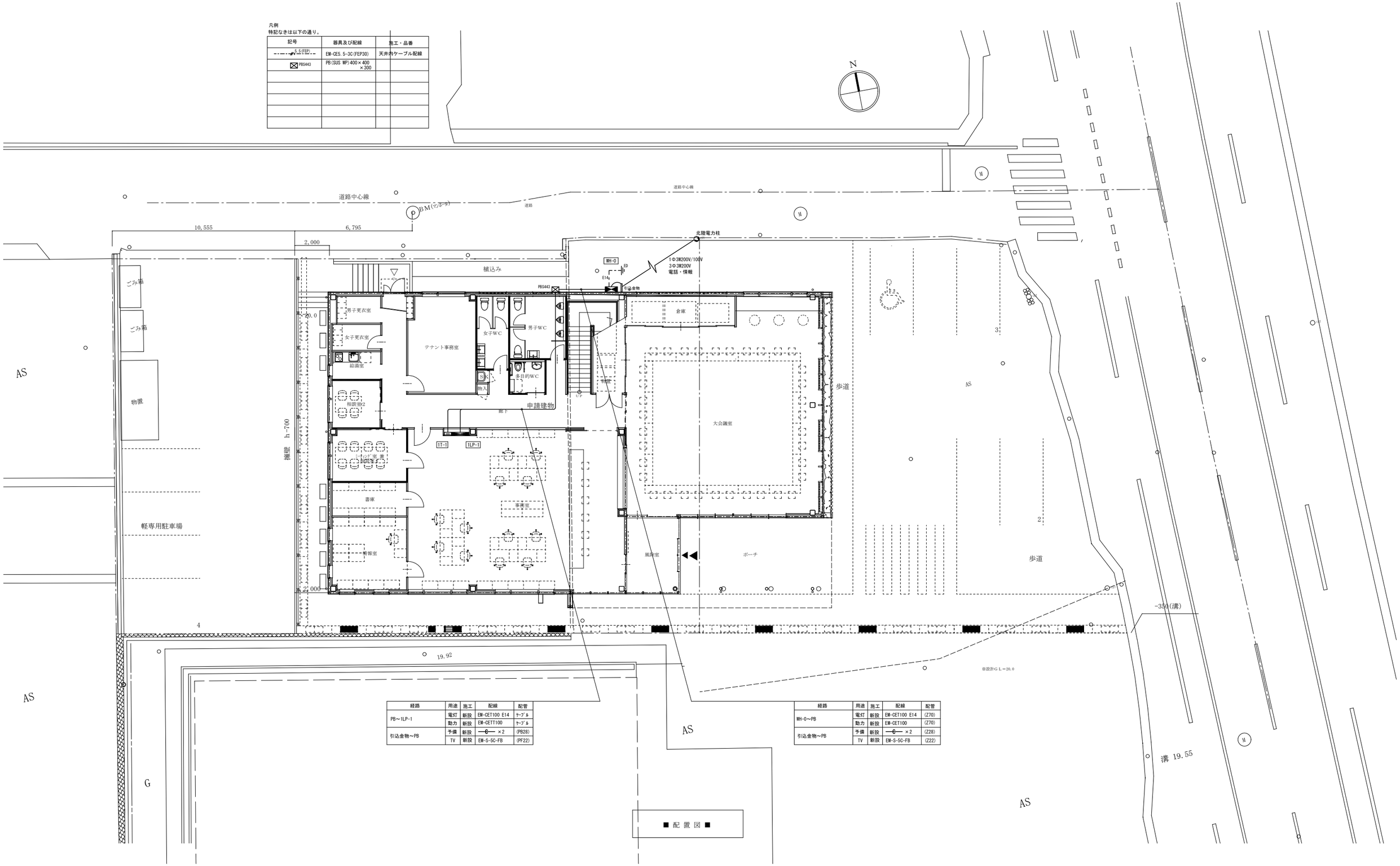
・消火器設備

1 機械室	・ABC粉末消火器　号　本 ・消火器収納箱　本入　個（・鋼板製　・SUS製 ） ・表示板　（・鋼板製　・SUS製　・アルミ製 ）
2 貯油槽施設	・ABC粉末消火器　号　本 ・消火器収納箱　本入　個（・鋼板製　・SUS製 ） ・表示板　（・鋼板製　・SUS製　・アルミ製 ）

山口設計 富山県黒部市田家新899-1 ｔｅｌ (0765)52-1180 Ｆａｘ (0765)57-2280 １級建築士登録 第362617号 管理建築士 山口 朋文	設計 山口 朋文 １級建築士登録第362617号 担当 横田 大輔	記事	工事名称 黒部商工会議所会館 新築工事 図面名称 設備工事特記仕様書（電気設備、給排水衛生設備、空調設備）	日付 2025.06 縮尺 A1:－ A3:－	図面番号 E-02 意匠

凡例
特記なきは以下の通り。

記号	器具及び配線	施工・品番	
5.5(FEP)	EM-CE5.5-3C(FEP30)	天井内ケーブル配線	
PBS443	PB(SUS WP)400×400 ×300		



経路	用途	施工	配線	配管
PB～1LP-1	電灯	新設	EM-CET100 E14	ｹｰﾌﾞﾙ
	動力	新設	EM-CETT100	ｹｰﾌﾞﾙ
引込金物～PB	予備	新設	—G— ×2	(PB28)
	TV	新設	EM-S-5C-FB	(PF22)

経路	用途	施工	配線	配管
WH-0～PB	電灯	新設	EM-CET100 E14	(Z70)
	動力	新設	EM-CET100	(Z70)
引込金物～PB	予備	新設	—G— ×2	(Z28)
	TV	新設	EM-S-5C-FB	(Z22)

山口設計
富山県黒部市田家新899-1
ｔｅｌ (0765)52-1180
Ｆａｘ (0765)57-2280
１級建築士登録 第362617号 管理建築士 山口 朋文

設計 山口 朋文 １級建築士登録第362617号
担当 横田 大輔
記事

工事名称	黒部商工会議所会館 新築工事	日付 2025.06	図面番号 E-03
図面名称	構内配電線路図	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	意 匠

盤名称	接続図	回路番号	配線用遮断器 電圧(V)	種別	P	AF	AT	負荷容量(W) 照明	空調換気	ファンコイル	コンセント	その他	予備	負荷名称	付属機器 RRy	T/U	CPU	TM	他	備考
1LP-1 主開閉器容量 形式：埋込型 1φ3W AC 200/100V	MCB3P 225AF/175AT																			
		L01	100	M	2	50	20	1150						事務室 照明						
		L02	100	M	2	50	20	820						情報室・相談室・更衣室 照明						
		L03	100	M	2	50	20	130	20					便所 照明						
		L04	100	M	2	50	20	110						廊下・雑庫 照明						
		L05	100	M	2	50	20	1170						大会議室 照明						
		L06	100	M	2	50	20	730						大会議室 照明						
		L07	100	E	2	50	20	100						ポーチ・屋外 照明				1		
		L08	100	E	2	50	20	150						外壁照明・内照式看板				1		
		F01	100	E	2	50	20		400					事務室・情報室・相談室他 換気						
		F02	100	E	2	50	20		330					大会議室 換気						
		C01	100	M	2	50	20				100			弱電機器						
		C02	100	M	2	50	20				100			端子盤						
		C03	100	M	2	50	20				200			弱電機器						
		C04	100	M	2	50	20				400			事務室						
		C05	100	M	2	50	20				200			情報室						
		C06	100	M	2	50	20				300			情報室						
		C07	100	M	2	50	20				400			相談室1						
		C08	100	M	2	50	20				400			相談室2						
		C09	100	E	2	50	20				800			給湯室						
		C10	100	E	2	50	20				100			ガス給湯器						
		C11	100	M	2	50	20				100			警備保障						
		C12	100	M	2	50	20				300			更衣室・廊下						
		C13	100	M	2	50	20				100			火災警報装置						
		C14	100	E	2	50	20				660			女子WC						
		C15	100	E	2	50	20				1210			多目的WC						
		C16	100	E	2	50	20				680			男子WC						
		C17	100	M	2	50	20				300			廊下・風除室						
		C18	100	E	2	50	20				300			自動ドア						
		C19	100	M	2	50	20				300			大会議室						
		C20	100	M	2	50	20				300			大会議室						
		C21	100	M	2	50	20				800			大会議室 AV機器						
		C22	100	M	2	50	20				200			大会議室 フロア						
		C23	100	M	2	50	20				300			大会議室 フロア						
		C24	100	M	2	50	20				800			事務室 受付						
		C25	100	M	2	50	20				800			事務室 フロア						
		C26	100	M	2	50	20				800			事務室 フロア						
		C27	100	M	2	50	20				800			事務室 フロア						
		C28	100	M	2	50	20				800			事務室 フロア						
		C29	100	M	2	50	20				800			事務室 フロア						
		C30	100	M	2	50	20				800			事務室 フロア						
		C31	100	M	2	50	20				800			事務室 フロア						
		C32	100	M	2	50	20				1200			事務室 複合機						
		E01	200	E	2	50	20				3000			給湯室 ＩＨ						
		AC1	200	E	2	50	20		1660					RAC-103 相談室2						
		AC2	200	E	2	50	20		2380					RAC-102 相談室1						
		AC3	200	E	2	50	20		1660					RAC-101 情報室						
			100	M	2	50	20							予備						
			100	M	2	50	20							予備						
			100	M	2	50	20							予備						
			100	M	2	50	20							予備						
			200/100	M	3	100	75	2240	6410		3500			2LP-1						
テナント用																				
		TL01	100	M	2	50	20	260	10					テナント事務室 照明						
		TC01	100	M	2	50	20				400			テナント事務室						
		TAC1	100	E	2	50	20		1420					RAC-104 テナント事務室						
			100	M	2	50	20							予備						
			100	M	2	50	20							予備						
							合計	6860	14290		23050									

盤名称	接続図	回路番号	配線用遮断器 電圧(V)	種別	P	AF	AT	負荷容量(W) 照明	空調換気	ファンコイル	コンセント	その他	予備	負荷名称	付属機器 RRy	T/U	CPU	TM	他	備考
2LP-1 主開閉器容量 形式：自立型 1φ3W AC 200/100V	1LP-1より MCB3P 100AF/75AT																			
		L01	100	M	2	50	20	410						相談室2・応接室他 照明						
		L02	100	M	2	50	20	80						廊下・階段 照明						
		L03	100	M	2	50	20	600						多目的・女性会・青年部 照明						
		L04	100	M	2	50	20	1150						小・中会議室 照明						
		F01	100	E	2	50	20		390					小・中会議室 換気						
		F02	100	E	2	50	20		50					応接・相談・部会室他 換気						
		C01	100	M	2	50	20				400			小会議室						
		C02	100	M	2	50	20				400			中会議室						
		C03	100	M	2	50	20				800			中会議室 ＡＶ機器						
		C04	100	M	2	50	20				300			廊下・多目的コーナー						
		C05	100	M	2	50	20				100			端子盤						
		C06	100	M	2	50	20				300			相談室3						
		C07	100	M	2	50	20				400			応接室						
		C08	100	M	2	50	20				400			青年部室						
		C09	100	M	2	50	20				400			女性会室						
		AC1	100	E	2	50	20		1420					RAC-201 相談室3						
		AC2	200	E	2	50	20		2050					HAC-201 女性会室						
		AC3	200	E	2	50	20		2500					HAC-202 青年部室						
			100	M	2	50	20							予備						
			100	M	2	50	20							予備						
			100	M	2	50	20							予備						
			100	M	2	50	20							予備						
							小計	2240	6410		3500									

盤名称	接続図	回路番号	配線用遮断器 電圧(V)	種別	P	AF	AT	負荷容量(W) 照明	空調換気	ファンコイル	コンセント	その他	予備	負荷名称	付属機器 RRy	T/U	CPU	TM	他	備考
主開閉器容量																				

盤名称	接続図	回路番号	配線用遮断器 電圧(V)	種別	P	AF	AT	負荷容量(W) 照明	空調換気	ファンコイル	コンセント	その他	予備	負荷名称	付属機器 RRy	T/U	CPU	TM	他	備考
主開閉器容量																				

凡　例

記　号	名　称	摘　要
E	配線用遮断器　ＥＬＣＢ	
M	配線用遮断器　ＭＣＣＢ	
ＲＲｙ	２０Ａリモコンリレー	１回路用　両切
ＲＴ	リモコントランス	フル２線式
Ｔ／Ｕ	リレー制御用Ｔ／Ｕユニット	４回路用　フル２線式
ＣＰＵ	伝送ユニット	停電補償付　フル２線式
ＴＭ	ソーラータイマー	ソーラ機能付
ＥＥ	ＥＥスイッチ連動ユニット	１回路用 フル２線
ＡＳ	自動点滅器	３Ａ×１
ＳＰＤ	避雷器（クラスⅡ）	備考にＳＰＤの記載のものは，避雷器を設置のこと
	配線用遮断器	
	電力量計	パルス発信装置付　※検定付と記載されているものは、検定付とする。
ＳＰＤ	避雷器（クラスⅠ）	
◎	接地端子	
MC	電磁接触器	

山口設計
富山県黒部市田家新899-1
ｔｅｌ (0765)52-1180
Ｆａｘ (0765)57-2280
１級建築士登録　第362617号　管理建築士　山口　朋文

設計　山口 朋文　１級建築士登録第362617号
担当　横田 大輔
記事

工事名称	黒部商工会議所会館 新築工事	日付	2025.06
図面名称	電灯盤結線図	縮尺	A1:－ A3:－
図面番号	E-04	意匠	

1LP-1 壁埋込型 電灯盤と一体

3φ3W200V
MH-0より

MCB3P225/175
28.75kW
最大電流164.1A

2LP-1へ

結線内容	負荷 記号	負荷 機器番号	負荷 名称	負荷 容量(kW) 夏期	負荷 容量(kW) 冬期	低圧コンデンサ(μF)	分岐遮断器 種類	分岐遮断器 極数	分岐遮断器 容量(AF/AT)	電流計(A)	単位・装置 始動方式	単位・装置 操作制御方式	単位・装置 操作制御SW	連動	インターロック	動力制御盤 発停	動力制御盤 状態	動力制御盤 故障	2次側配管・配線 配線 電源	2次側配管・配線 配線 接地	2次側配管・配線 配管	電流値 規約電流	電流値 最大運転電流	INV	備考
	1	PAC-101	空冷式パッケージエアコン	3.87kW	3.67kW		E	3	50/40		BO								CV8-3C	E5.5	(PF28)		28.0A		
			予備				E	3	50/30																

2LP-1 自立型 電灯盤と一体

3φ3W200V
1LP-1より

MCB3P225/150

結線内容	負荷 記号	負荷 機器番号	負荷 名称	負荷 容量(kW) 夏期	負荷 容量(kW) 冬期	低圧コンデンサ(μF)	分岐遮断器 種類	分岐遮断器 極数	分岐遮断器 容量(AF/AT)	電流計(A)	単位・装置 始動方式	単位・装置 操作制御方式	単位・装置 操作制御SW	連動	インターロック	動力制御盤 発停	動力制御盤 状態	動力制御盤 故障	2次側配管・配線 配線 電源	2次側配管・配線 配線 接地	2次側配管・配線 配管	電流値 規約電流	電流値 最大運転電流	INV	備考
	1	PAC-201	空冷式パッケージエアコン	5.33kW	4.96kW		E	3	50/40		BO								CV8-3C	E5.5	(PF28)		28.0A		
	2	PAC-202	空冷式パッケージエアコン	5.33kW	4.96kW		E	3	50/40		BO								CV8-3C	E5.5	(PF28)		28.0A		
	3	PAC-203	空冷式パッケージエアコン	1.49kW	1.68kW		E	3	50/20		BO								CV5.5-4C		(PF28)		10.2A		
	4	PAC-204	空冷式パッケージエアコン	2.07kW	2.39kW		E	3	50/20		BO								CV5.5-4C		(PF28)		13.9A		
	5	PAC-102	空冷式パッケージエアコン	5.33kW	4.96kW		E	3	50/40		BO								CV8-3C	E5.5	(PF28)		28.0A		
	6	PAC-102	空冷式パッケージエアコン	5.33kW	4.96kW		E	3	50/40		BO								CV8-3C	E5.5	(PF28)		28.0A		

MH-0 屋外壁掛型 SUS WP

1φ3W200V/100V 電力会社 電力量計
MF
DPS

結線内容	負荷 記号	負荷 機器番号	負荷 名称	負荷 容量(kW) 夏期	負荷 容量(kW) 冬期	低圧コンデンサ(μF)	分岐遮断器 種類	分岐遮断器 極数	分岐遮断器 容量(AF/AT)	電流計(A)	単位・装置 始動方式	単位・装置 操作制御方式	単位・装置 操作制御SW	連動	インターロック	動力制御盤 発停	動力制御盤 状態	動力制御盤 故障	2次側配管・配線 配線 電源	2次側配管・配線 配線 接地	2次側配管・配線 配管	電流値 規約電流	電流値 最大運転電流	INV	備考
			1LP-1				M	3	225/175		BO								CVT100	E14					

3φ3W200V 電力会社 電力量計
MF
DPS

結線内容	負荷 記号	負荷 機器番号	負荷 名称	負荷 容量(kW) 夏期	負荷 容量(kW) 冬期	低圧コンデンサ(μF)	分岐遮断器 種類	分岐遮断器 極数	分岐遮断器 容量(AF/AT)	電流計(A)	単位・装置 始動方式	単位・装置 操作制御方式	単位・装置 操作制御SW	連動	インターロック	動力制御盤 発停	動力制御盤 状態	動力制御盤 故障	2次側配管・配線 配線 電源	2次側配管・配線 配線 接地	2次側配管・配線 配管	電流値 規約電流	電流値 最大運転電流	INV	備考
			1LP-1				M	3	225/175		BO								CVT100						

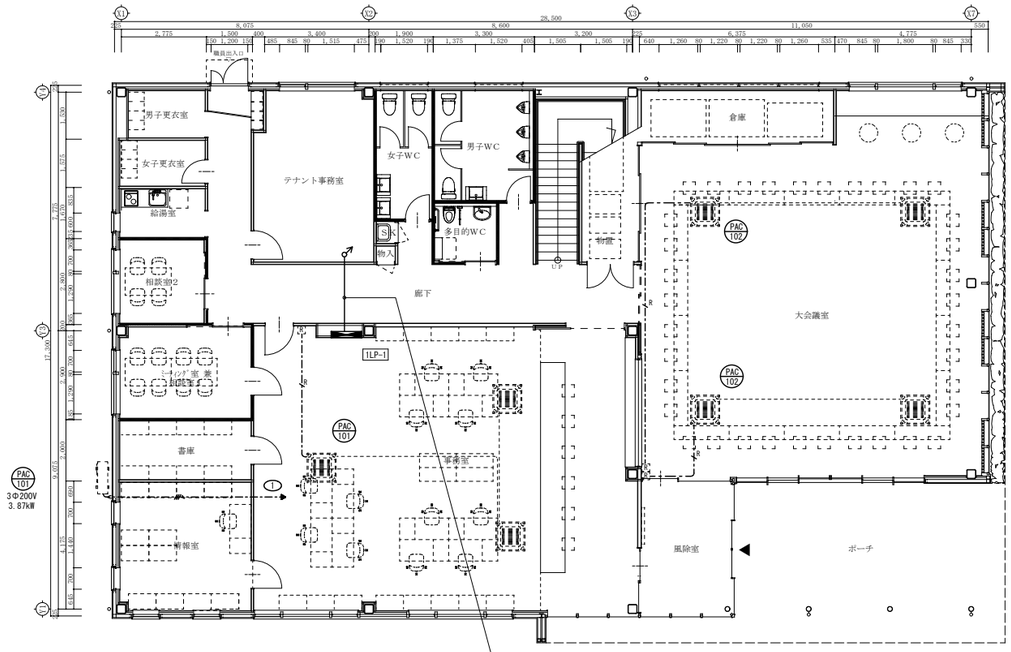
分岐遮断器・種類の記号は下記の通り		始動方式の記号は下記の通り		操作・制御方式の記号は下記の通り		操作・制御スイッチの記号は下記の通り	
記号	名称	記号	方式	記号	方式	記号	名称
M	MCCB (配線保護用)	L1	単独運転用（直入）	1	手動	B	押しボタンスイッチ
E	ELCB (配線保護用)	Y1	単独運転用（Y－Δ）	2－1	手動－遠方	I	連動スイッチ
MM	MMCB (モーター保護用)	L2	交互運転用（直入）	2－1a		Ti	タイムスイッチ
ME	MELB (モーター保護用)	Y3	交互運転用（Y－Δ）	2－2	試験－遠方	V	真空スイッチ
		L3	交互同時運転用（直入）	2－2a		P	圧力スイッチ（ガス圧スイッチ，水圧スイッチ等）
		Y3	交互同時運転用（Y－Δ）	2－3	便所排気ファン	Th	温度スイッチ
		L1－K	可変速運転用（直入） バイパス回路なし	3	手動－自動	Hu	湿度スイッチ
		L1－KK	可変速運転用（直入） バイパス回路付	4－1	試験－自動	Li	リミットスイッチ
		Y1－KK	可変速運転用（Y－Δ） バイパス回路付	4－2	試験－自動	Le	レベルスイッチ
		A0	電源送り（制御電源）	5	給水又は排水	F1	フロートスイッチ
		B0	電源送り（電流計なし）	6	警報付給水又は排水	F2	フロートスイッチ（油用）
		B1	電源送り（電流計あり）	7	消火ポンプ（遠方始動）		
		B2	電源送り（電流計・CT付）	8	消火ポンプ（連動始動）	G0	液面継電器 給水又は排水
				8－2	スプリンクラーポンプ	G1	空転防止又は高架水槽減水警報付給水
				8－3	排煙ファン	G2	満水警報付排水
				9	複式自動交互運転	G3	満減水警報付給水又は排水
				10	複式自動交互同時運転	G4	受水槽空転防止付満減水警報及び高架水槽満減水警報付給水
				11－1	手動交互運転（手動）		
				11－2	手動交互運転（試験－自動）	G5	警報用
				12	給湯室排気ファン（電磁弁）	TD	外部信号（インバーター制御用）
				13－1	給湯室排気ファン（ガス圧スイッチ））		
				13－2	給湯室排気ファン（水圧スイッチ））		
				14－1	油ポンプ（単式）		
				14－2	油ポンプ（複式）		
				15－1	可変速運転（バイパス回路なし）		
				15－2	可変速運転（バイパス回路付）		※注記 SPDはクラスⅡとする。
				B	ブザー及び橙表示灯付		※注記 電力量計は、全てパルス発信装置付とし、中央監視にて計量のこと。
				A	遠方監視用接点付		

山口設計
富山県黒部市田家新899-1
tel (0765)52-1180
Fax (0765)57-2280
1級建築士登録 第362617号 管理建築士 山口 朋文

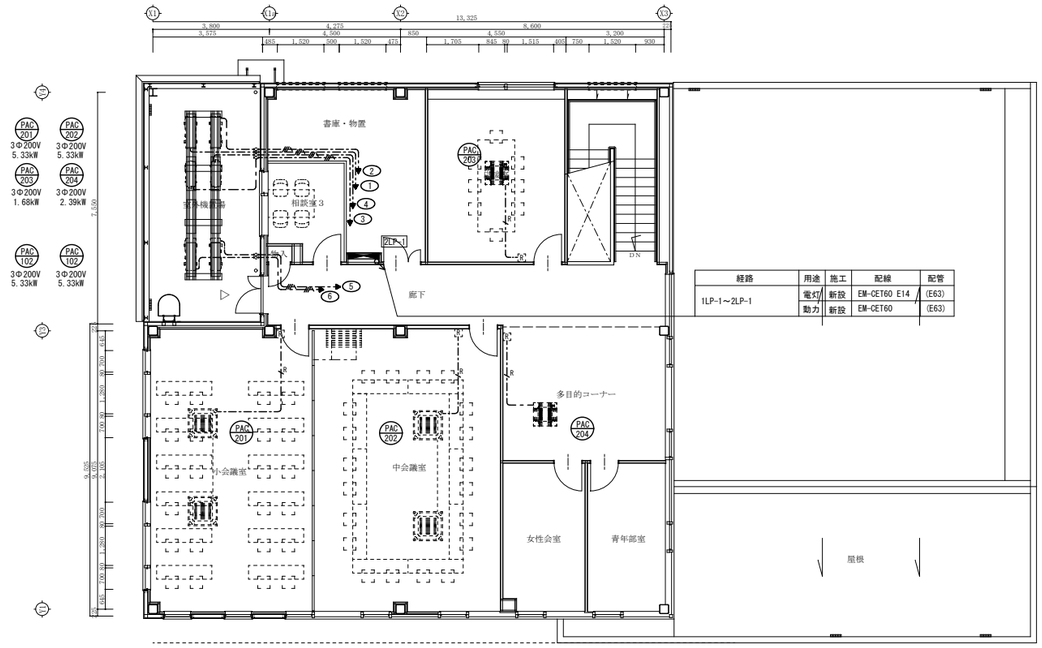
設計 山口 朋文 1級建築士登録第362617号
担当 横田 大輔

記事

工事名称 黒部商工会議所会館 新築工事
図面名称 動力盤結線図
日付 2025.06
縮尺 A1:— A3:—
図面番号 E-05
意匠



経路	用途	施工	配線	配管
1LP-1～2LP-1	電灯	新設	EM-CET60 E14	ｹｰﾌﾞﾙ
	動力	新設	EM-CET60	ｹｰﾌﾞﾙ



経路	用途	施工	配線	配管
1LP-1～2LP-1	電灯	新設	EM-CET60 E14	(E63)
	動力	新設	EM-CET60	(E63)

動力負荷・配線表

盤名称	回路番号	機器番号	機器名称	容量	配　線	接地	保護配管	ｹｰﾌﾞﾙ	ﾗｯｸ	G回路	最大負荷電流(A)	配線用遮断器(A)	備考
1LP-1 3.87kW	1	PAC-101	空冷式パッケージエアコン	3.87kW	EM-CE8-3C	E5.5	(PF28)				28.0A	40A	

＊【共通事項】 配線は天井内ケーブル支持配線とし、屋外は設備化粧ダクトとともに配線する。

凡例
特記なきは以下の通り。

記号	器具及び配線	施工・品番
----P----	動力配線	動力負荷・配線表 参照
----E----	EM-MEE50.5-2C	天井内ケーブル配線
[R]	空調リモコン	設備支給品取り付け

*壁内立上りはPF管で保護のこと。

動力負荷・配線表

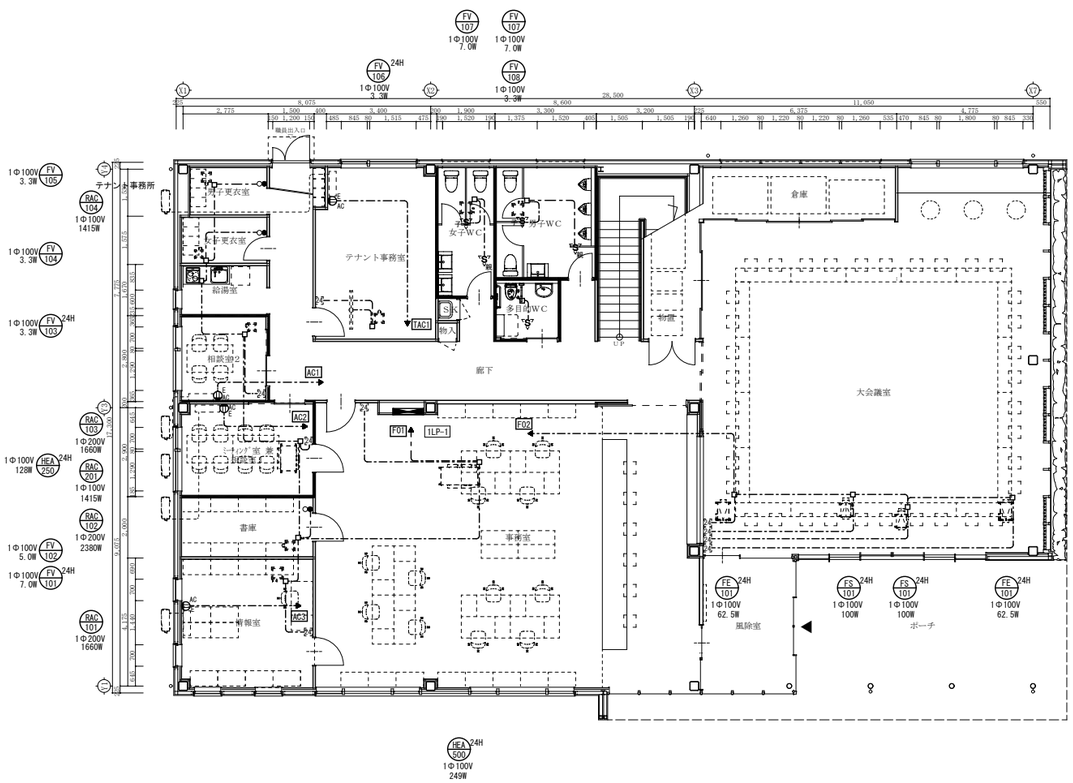
盤名称	回路番号	機器番号	機器名称	容量	配　線	接地	保護配管	ｹｰﾌﾞﾙ	ﾗｯｸ	G回路	最大負荷電流(A)	配線用遮断器(A)	備考
2LP-1 25.39kW	1	PAC-201	空冷式パッケージエアコン	5.33kW	EM-CE8-3C	E5.5	(PF28)				28.0A	40A	
	2	PAC-202	空冷式パッケージエアコン	5.33kW	EM-CE8-3C	E5.5	(PF28)				28.0A	40A	
	3	PAC-203	空冷式パッケージエアコン	1.68kW	EM-CE5.5-4C		(PF28)				10.2A	20A	
	4	PAC-204	空冷式パッケージエアコン	2.39kW	EM-CE5.5-4C		(PF28)				13.9A	20A	
	5	PAC-102	空冷式パッケージエアコン	5.33kW	EM-CE8-3C	E5.5	(PF28)				28.0A	40A	
	6	PAC-102	空冷式パッケージエアコン	5.33kW	EM-CE8-3C	E5.5	(PF28)				28.0A	40A	

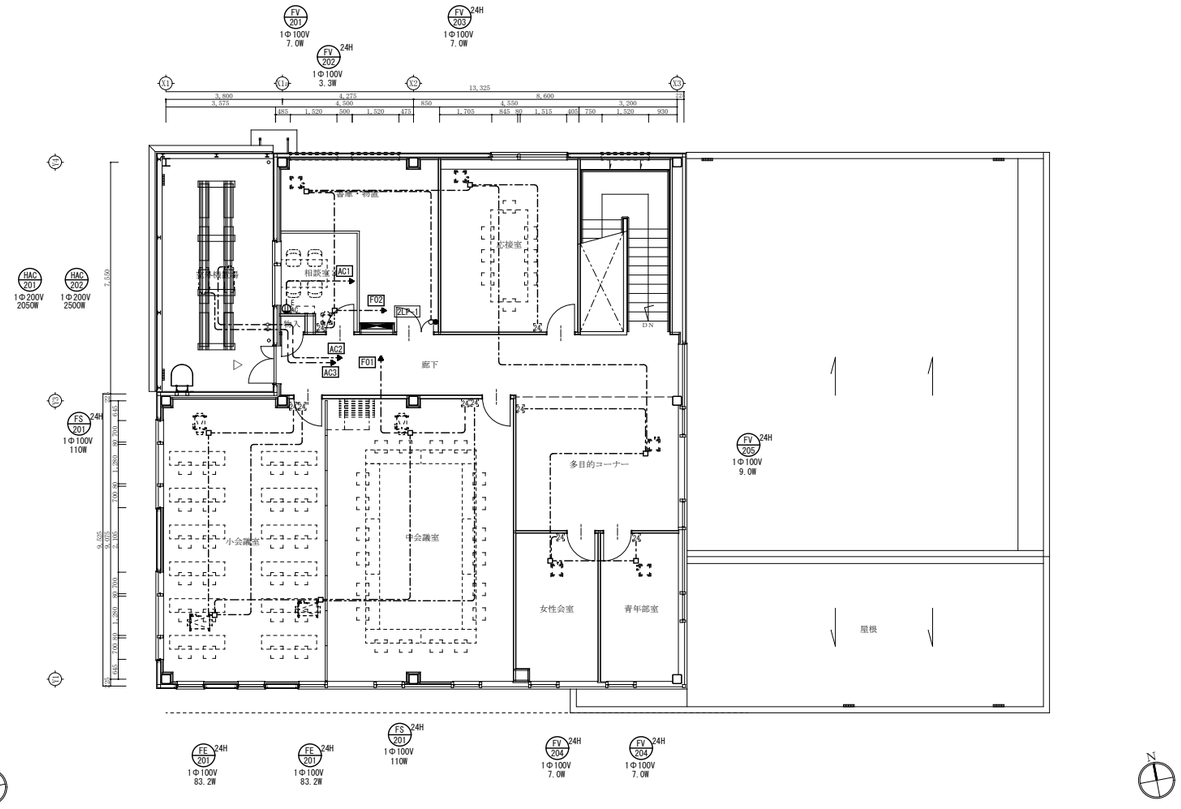
＊【共通事項】 配線は天井内ケーブル支持配線とし、屋外は設備化粧ダクトとともに配線する。

山口設計
富山県黒部市田家新899-1
ｔｅｌ (0765)52-1180
Ｆａｘ (0765)57-2280
１級建築士登録　第362617号　管理建築士　山口　朋文
設計　山口 朋文　１級建築士登録第362617号
担当　横田 大輔

記事

工事名称	黒部商工会議所会館 新築工事	日付	2025.06
図面名称	幹線・動力設備配線図	縮尺	A1:1/100 A3:1/200
図面番号	E-06	意匠	





凡例
特記なきは以下の通り。

記号	器具及び配線	施工・品番
----------	EM-EEF2.0-3C	天井内ケーブル配線
24	24時間スイッチ	設備支給品取り付け

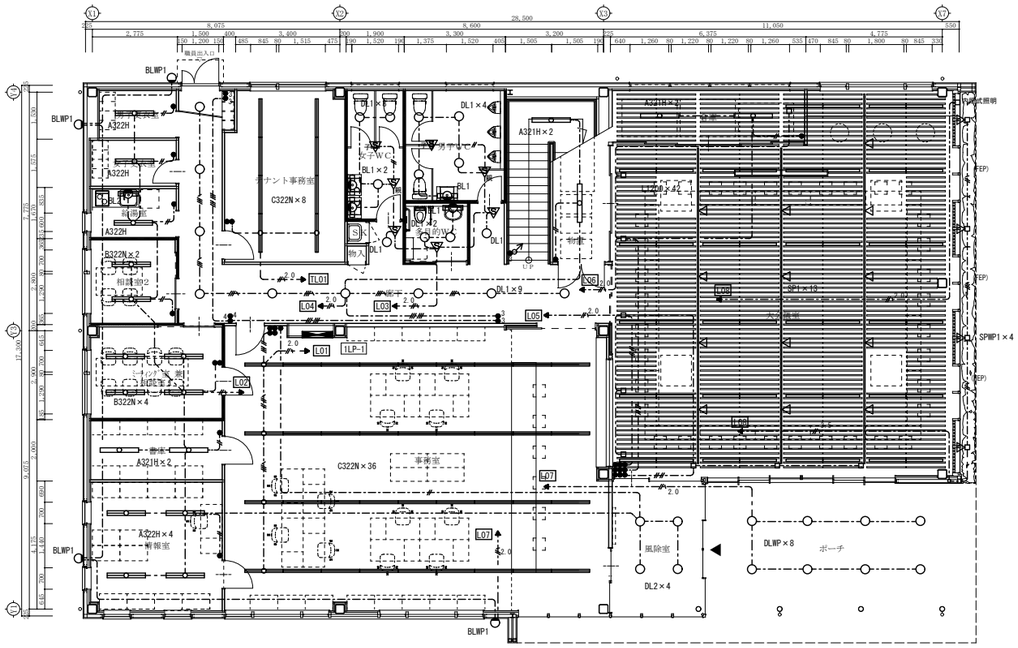
*壁内立上りはPF管で保護のこと。
*スイッチ用のプレートは神保電器Jワイドスリムサストとする。

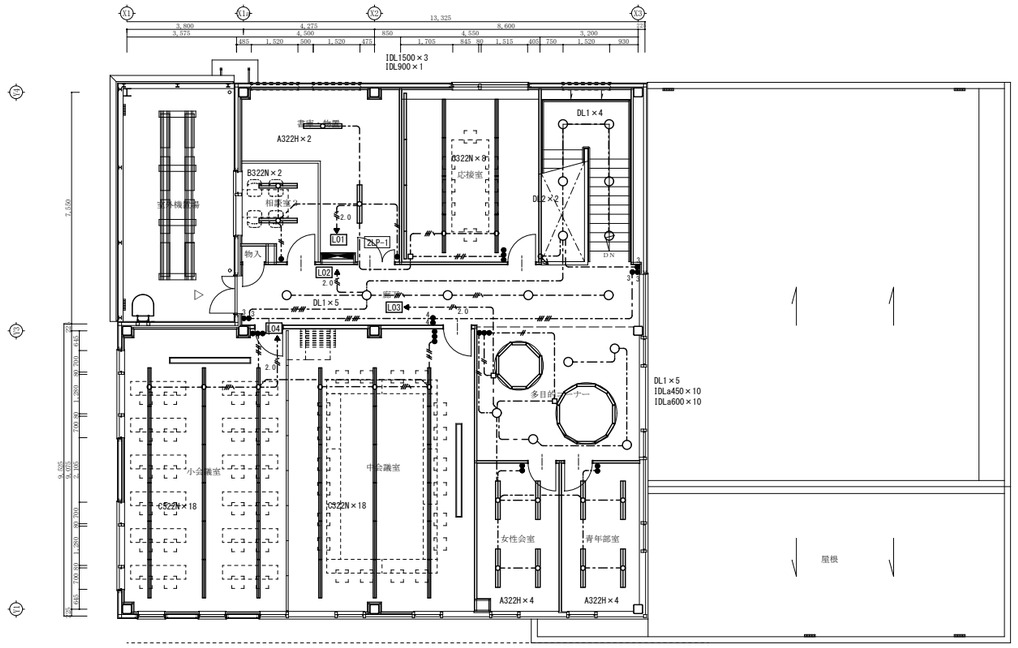
山口設計
富山県黒部市田家新899-1
ｔｅｌ (0765)52-1180
Ｆａｘ (0765)57-2280
１級建築士登録 第362617号 管理建築士 山口 朋文

設計 山口 朋文 １級建築士登録第362617号
担当 横田 大輔
記事

工事名称	黒部商工会議所会館 新築工事	日付 2025.06	図面番号
図面名称	空調・換気設備配線図	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	意 匠

E-07

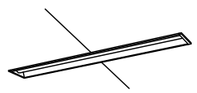




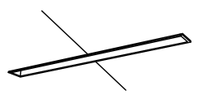
照明器具姿図

記号	器具名称	消費電力	色温度	大きさ	参考品番
A322H	LED 逆富士	43.1W	昼白	W150	XLX460AENP LE9
A321H	LED 逆富士	20.6W	昼白	W150	XLX430AENP LE9

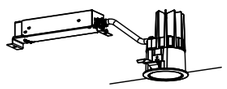
記号	器具名称	消費電力	色温度	大きさ	参考品番
B322N	LED 下面開放	31.9W	昼白	W150	XFX450PEN LE9



記号	器具名称	消費電力	色温度	大きさ	参考品番
C322N	LED 下面開放 無線調光	26.7W	昼白	W100	XFX440MEN RS9



記号	器具名称	消費電力	色温度	大きさ	参考品番
DL1	LED ダウンライト	7.0W	温白	75Φ	XND1006WV LE9
DL2	LED ダウンライト	11.6W	温白	75Φ	XND1506WV LE9



記号	器具名称	消費電力	色温度	大きさ	参考品番
BL1	LED ミラー灯	11.7W	温白	W572	NNN13512 LE1

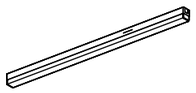
記号	器具名称	消費電力	色温度	大きさ	参考品番
BL2	LED 流し元灯	12W	昼白	L558	LGB52096 LE1

記号	器具名称	消費電力	色温度	大きさ	参考品番
DLWP1	LED 軒下灯 防雨型	7.6W	温白	100Φ	XNW1031WV LE9

記号	器具名称	消費電力	色温度	大きさ	参考品番
BLWP1	LED 防雨型ブラケット	7.1W	昼色	H320	LGWC80380 LE1

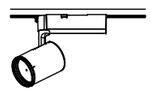
*センサー付き

記号	器具名称	消費電力	色温度	大きさ	参考品番
L1200	LED ライン照明 無線調光	34.2W	調光可	L1200	NNF51219 RM9



記号	器具名称	消費電力	色温度	大きさ	参考品番
SP1	LED スポットライト 無線調光	26.4W	昼色	L127	NTS02595B RJ1

*ライティングレール共



記号	器具名称	消費電力	色温度	大きさ	参考品番
IDL900	LED 間接照明 無線調光	19.0W	調光	L900	NNN36535 RM9
IDL1500	LED 間接照明 無線調光	30.0W	調光	L1500	NNN36500 RM9

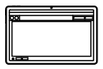
記号	器具名称	消費電力	色温度	大きさ	参考品番
IDLa450	LED 間接照明	10W	温白	L450	XLY045HYV LJ9
IDLa600	LED 間接照明	12W	温白	L600	XLY060HYV LJ9

記号	器具名称	消費電力	色温度	大きさ	参考品番
SPWP1	LED 屋外スポットライト	31W	電球	136Φ	NYT11033RZ LE9

*広角タイプ

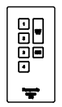
記号	器具名称	消費電力	色温度	大きさ	参考品番
	調光用タブレット				NQ16280J

1台



記号	器具名称	消費電力	色温度	大きさ	参考品番
	シーン選択用リモコン				NQ16200

事務室 2台
大会議室 2台
テナント事務室 1台
小会議室 1台
大会議室 1台
応接室 1台



*器具の枠の色は意匠に確認うえのこと。

凡例
特記なきは以下の通り。

記号	器具及び配線	施工・品番
--—·—2.0—·--	EM-EEF2.0-3C	天井内ケーブル配線
--—·—·—·--	EM-EEF1.6-2C	天井内ケーブル配線
--—·—·—·—·--	EM-EEF1.6-3C	天井内ケーブル配線
--—·—·-- --—·—·--	EM-EEF1.6-2C + 2C	天井内ケーブル配線
--—·—·— --—·—·—	EM-EEF1.6-3C + 2C	天井内ケーブル配線
--—·—·— --—·—·—	EM-EEF1.6—3C ×2	天井内ケーブル配線
--—·—3.5—·--	EM-CE3.5-3C	天井内ケーブル配線
--—·—(FEP)(FEP)—·--	EM-CE3.5-3C(FEP30)	地中配管
	人感センサー親器	参考:WTK2604
親	人感センサー親器	参考:WTK24818
子	人感センサー子機	参考:WTK29318

*壁内立上りはPF管で保護のこと。
*スイッチ用のプレートは神保電器Jワイドスリムサストとする。

法令注記

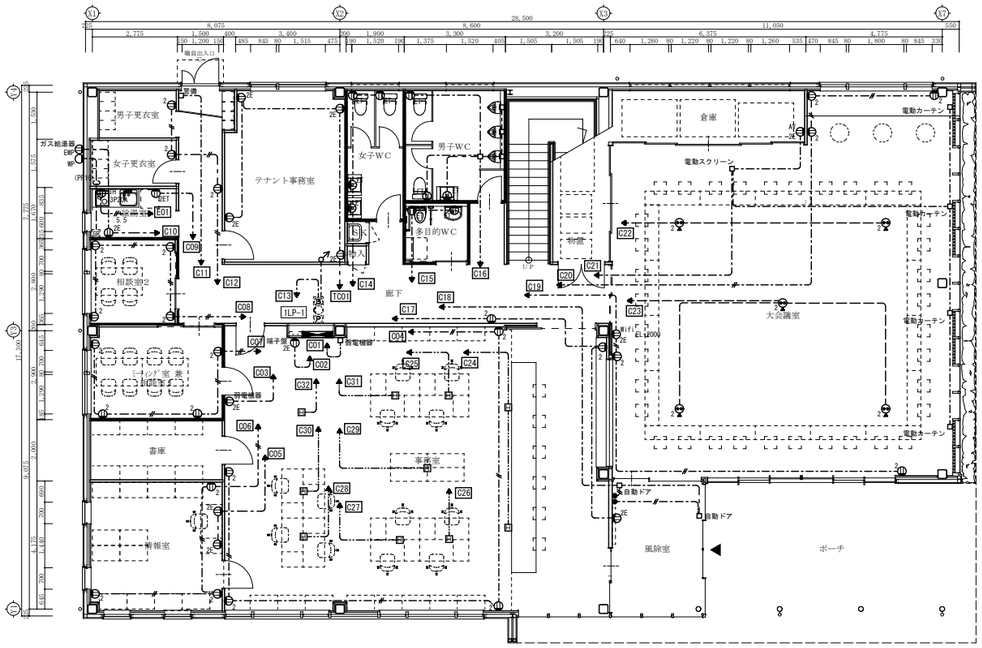
（１）誘導灯設備に関する法令注記
本建物は、消防法施行令別表第１(15)項に該当し、「地階、無窓階、地上１１階以上」に該当しないので設置しない。ただし、誘導標識は設置する。１０枚程度見込むこと。

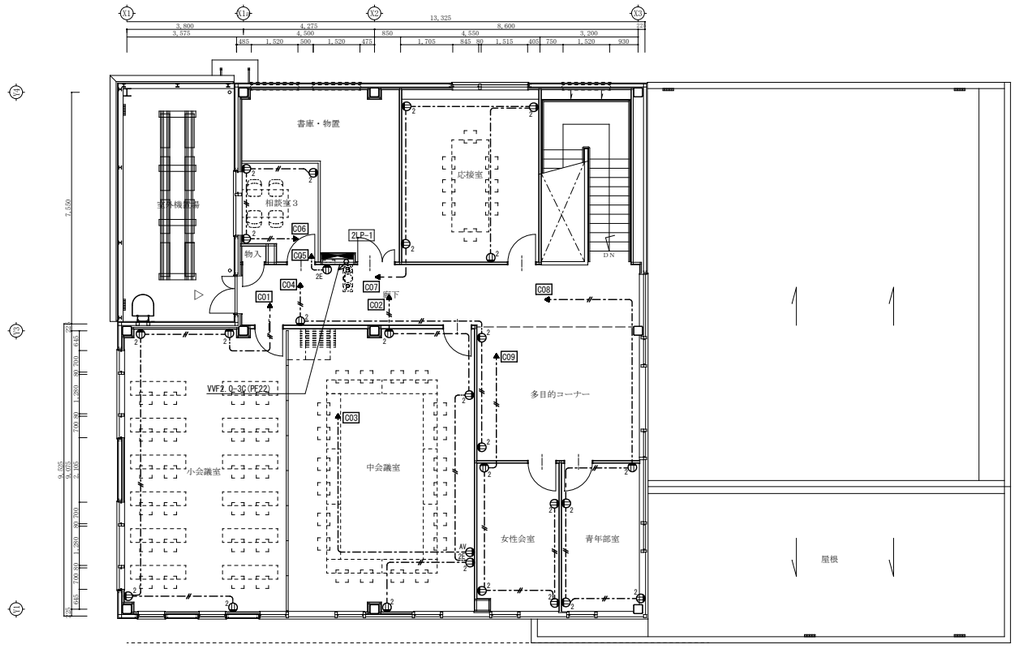
（２）非常照明設備に関する法令注記
本建物は、特殊建築物ではなく、階数が3以上ではない延べ面積1,000m2を超えない建築物であるため、非常照明設備は設置しない。

山口設計
１級建築士登録　第362617号　管理建築士　山口　朋文
富山県黒部市田家新899-1
ｔｅｌ　(0765)52-1180
Ｆａｘ　(0765)57-2280
設計　山口 朋文　１級建築士登録第362617号
担当　横田 大輔

記事

工事名称	黒部商工会議所会館 新築工事	日付 2025.06	図面番号
図面名称	電灯設備配線図	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	意 匠 E-08





凡例
特記なきは以下の通り。

記号	器具及び配線	施工・品番
--—·—W—·—--	EM-EEF2.0-2C	天井内ケーブル配線
--—·—·—·—--	EM-EEF2.0-3C	天井内ケーブル配線
·····-·····-·····	EM-EEF2.0-3C	OAフロア内配線
————	EM-EEF2.0-3C(PF22)	床配管
--—·—W5.5—·—--	EM-CE5.5-3C	天井内ケーブル配線
	ﾊｰﾈｽｼﾞｮｲﾝﾄ	参考:WJ5293
	OAｯﾌﾟ 5m抜け止め 2P15AE×4口 2個	参考:WFA6654H
	ガスリモコン	設備支給品取付
	防雨型通線プレート	

*壁内立上りは吓管で保護のこと。

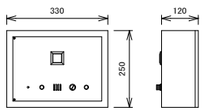
山口設計
富山県黒部市田家新899-1
ｔｅｌ (0765)52-1180
Ｆａｘ (0765)57-2280
１級建築士登録 第362617号 管理建築士 山口 朋文

設計 山口 朋文 １級建築士登録第362617号
担当 横田 大輔
記事

工事名称	黒部商工会議所会館 新築工事	日付 2025.06	図面番号
図面名称	コンセント設備配線図	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	意 匠

E-09

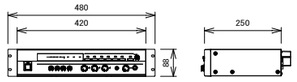
トイレ呼出表示（１窓）



電　源	ＤＣ２４Ｖ　または　ＡＣ１００Ｖ　５０／６０Ｈｚ
	（ＤＣ２４Ｖ（親機より供給））
ブザー	音量可変式電子ブザー
表示灯	３０ｍｍ角ＬＥＤ照光式
外部接続端子	Ｍ４ネジ端子
材質・仕上げ	クロムフリー鋼板　ｔ＝１．２／１．６ｍｍ　焼焼付塗装
標準色	クリーム色半艶

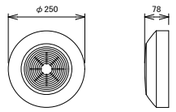
卓上アンプ

＜ＩＴＶワゴン内設置＞



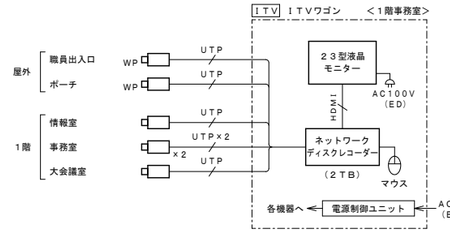
電　源	ＡＣ１００Ｖ　５０／６０Ｈｚ
定格出力	３０Ｗ
周波数特性	５０Ｈｚ～２０ｋＨｚ
入　力	マイク×３、ライン×２、ページング、チャイム、緊急
	リモコンマイク
出　力	スピーカー（５局＋一斉）、ライン、増設
機　能	優先放送機能、緊急制御、非常放送時遮断回路内蔵
その他	ラックマウント金具共

天井露出スピーカー



定格入力	３Ｗ（３．３ｋΩ）、１Ｗ（１０ｋΩ）
出力音圧レベル	９２ｄＢ（１Ｗ／１ｍ）
周波数特性	１８０Ｈｚ～１５ｋＨｚ（－２０ｄＢ）
使用スピーカー	１２ｃｍコーンスピーカー
仕上げ	ハイインパクトポリスチレン樹脂

ＩＴＶ設備　システムブロック図



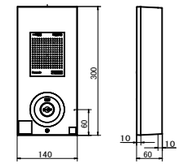
＜録画条件＞

カメラ台数	：６台
映像圧縮方式	：Ｈ．２６５
ＨＤＤ容量	：２ＴＢ
解像度	：フルＨＤ　（１９２０×１０８０）
画質	：ＳＦ（最高画質）
録画枚数	：１０ｉｐｓ
（カメラ１台当）	
１日当録画時間	：２４時間
録画保存日数	：約１８日間

＜凡例＞

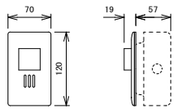
- 監視カメラ（屋内ドーム型）
- WP 監視カメラ（屋外型）
- UTP ＵＴＰ－Ｃａｔ５ｅ（０．５－４Ｐ）（配線長、１００ｍまで）
- HDMI ＨＤＭＩケーブル（２ｍ以下）

非常警報装置



種類	自動式サイレン
電源	AC100V 50-60Ｈｚ
消費電力	警戒時最大：４．５VA 警報時最大：５．５VA
非常電源	DC6V ０．２９Ah ニッケルカドニウム蓄電池
音響装置	サイレン音９０dB以上　　ＤＣ3.3Ｖ　約３００ｍＡ
使用周囲温度	０～＋４０℃
質量	1.0Kｇ

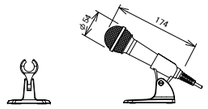
表示灯（ブザー付き）



電　源	最大ＤＣ１２Ｖ（親機より供給）
ランプ	赤色発光ＬＥＤ
ランプカバー	乳白色ポリカーボネイト
ブザー	音量可変式（半固定）
材　質	フルカラーモダンプレート
適合ボックス	ＪＩＳ１個用スイッチボックス（別途）

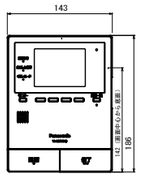
卓上マイク

＜ＩＴＶワゴン天板上設置＞



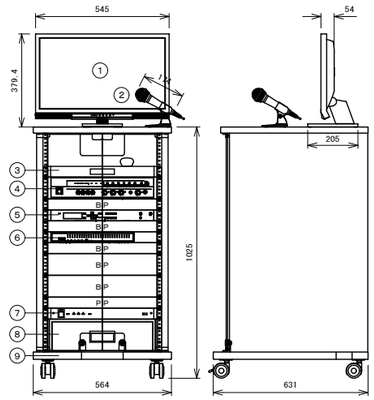
形　式	ダイナミック型
感　度	－５３ｄＢ
周波数特性	７０Ｈｚ～１２ｋＨｚ
指向特性	カーディオイド
出力インピーダンス	５００Ω（不平衡型）
その他	マイクスタンド付

ドアホン親機



電　源	AC100V (50/60Hz)
消費電力	待機時：約1.4 W
	動作時：約7 W
質　量	約440g
画面表示	約3.5 型　カラー液晶ディスプレイ
無線通信方式	1.9 GHz TDMA-MB

ＩＴＶワゴン



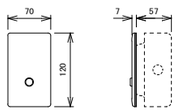
＜構成＞

番号	名　　称	数量	備　考
1	２３型液晶モニター	1	
2	卓上マイク	1	放送設備
3	マウス用スライド棚	1	
4	卓上アンプ	1	放送設備
5	プログラムチャイムユニット	1	放送設備
6	ネットワークディスクレコーダー（２ＴＢ）	1	
7	電源制御ユニット	1	
8	引出しユニット	1	
9	収納ワゴン	1	
	ＢＰ：ブランクパネル　　ＰＰ：通気用パネル		

＜仕様＞

２３型液晶モニター	FDF2307W　相当品
ディスプレイパネル	２３．０型・ＩＰＳ（アンチグレア）・ＬＥＤバックライト
推奨解像度	１９２０×１０８０（１６：９）
輝度・コントラスト比	２５０ｃｄ／㎡（標準値）・１０００：１（標準値）
映像入力端子	ＤＶＩ-Ｄ（ＨＤＣＰ対応）、ＨＤＭＩ×２（ＨＤＣＰ対応）
	Ｄ-Ｓｕｂ１５ピン（ミニ）
音声出力端子・スピーカー	ヘッドホン端子、ラインアウト端子、０．５Ｗ＋０．５Ｗ
その他	２４時間連続使用
マウス用スライド棚	ＥＩＡ－Ｄ１　相当品
材　質	鋼板製
棚板積載質量	５ｋｇまで
その他	スライド棚板リバーシブル仕様
ネットワークディスクレコーダー（２ＴＢ）　ＷＪ－ＮＵ２０１／２、ＷＶ－ＱＲＭ１０１　相当品	
カメラ接続台数・ＨＤＤ	８台・２ＴＢ（２ＴＢ×１）
録画圧縮方式	Ｈ．２６５、Ｈ．２６４、ＪＰＥＧ
入出力	モニター端子：２（ＨＤＭＩ）、ＵＳＢポート：２（ＵＳＢ３．０×１、
	ＵＳＢ２．０×１）、アラーム／コントロール端子：１（端子台プラグ）、
	カメラポート：８（ＲＪ－４５、ＰｏＥ+対応）、ＰＣポート：１（ＲＪ－４５）
モニター端子　最大解像度	メイン：４Ｋ、サブ：ＦＨＤ
特長（機能）	ＰｏＥ給電機能（８ポート、合計１１０Ｗ）、
	簡単操作・簡単設定、外付ＨＤＤ・ＵＳＢメモリーにコピー可、
	ＭＰ４ダウンロード、高精細映像監視、
	ＲＴＳＰ接続機能、かな漢字変換機能、マウス１個付属
その他	ラックマウント金具共
電源制御ユニット	ＷＵ－Ｌ６１　相当品
電　源	ＡＣ１００Ｖ　５０／６０Ｈｚ
ＡＣコンセント	非連動×２、連動×９（全コンセント合計最大１４．８Ａ以下）
引出しユニット	ＥＩＡ－Ｄ３　相当品
最大積載質量	約１５ｋｇ
引出し内寸	Ｗ３８０×Ｈ１０７×Ｄ３２３（ｍｍ）
収納ワゴン	ＥＩＡ－Ｋ２０Ｂ　相当品
本　体	化粧合板
扉	強化ガラス　鍵付（２７０°開閉可）
キャスター	φ６０ツイン　４個（ストッパー付２個）

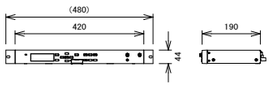
復帰ボタン



復帰スイッチ	ノンロックＢ接点スイッチ
材　質	フルカラーモダンプレート
適合ボックス	ＪＩＳ１個用スイッチボックス（別途）

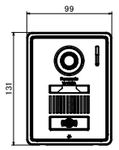
プログラムチャイムユニット

＜ＩＴＶワゴン内設置＞



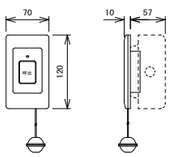
電　源	ＡＣ１００Ｖ　５０／６０Ｈｚ
プログラムタイマー	週間／年間スケジュール設定可能
時刻精度	週差±０．７秒以内（２５℃）
時刻補正入力	ＮＴＰサーバー、親時計、時報音声、接点
記録メディア	ＳＤ／ＳＤＨＣメモリーカード
内蔵音源	８曲固定　（ウエストミンスターの鐘、蛍の光　他）
ＳＤメモリーカード再生音源	２曲（ユーザーオリジナル音源使用可能）
外部制御入力	８回路
制御出力	１０回路、動作中出力×１回路
その他（付加機能）	ライン入力（内蔵・ＳＤ音源ミキシング機能付き）
備　考	ＡＶライトグレー（マンセルＮ８近似色）
	ラックマウント金具付属

ドアホン子機



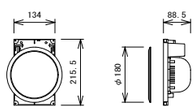
電源電圧	待機時：DC 約5V
	動作時：DC 約20V
質　量	約 180 ｇ
外観色調	シルバー
取付方法	露出型：JIS 1個用スイッチボックス適合

トイレ押釦（紐付き）



プレート	材質：ＡＢＳ樹脂、色調：ミルキーホワイト
操作シート	材質：ポリカーボネイト
呼出スイッチ	ノンロック（自己保持回路内蔵）
呼出確認灯	赤色発光ＬＥＤ
防水パッキン	材質：シリコン樹脂
握り球	材質：ＡＢＳ樹脂、色調：ヨーロピアンオレンジ
引き紐	材質：ポリエステル、長さ：約１５０ｍｍ
適合ボックス	ＪＩＳ１個用スイッチボックス（別途）

天井埋込スピーカー

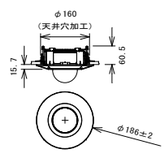


定格入力	６Ｗ（１．６７ｋΩ）、３Ｗ（３．３ｋΩ）、
	１Ｗ（１０ｋΩ）
出力音圧レベル	９４ｄＢ（１Ｗ／１ｍ）
周波数特性	１２０Ｈｚ～１５ｋＨｚ
使用スピーカー	１２ｃｍコーンスピーカー
仕上げ	本体：ポリスチレン
パネル	ネット：アルミパンチング、枠：ＡＢＳ樹脂

ドアホン用ポール YKK AP B01型相当

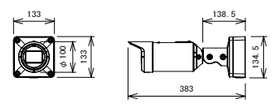
材質	アルミ
色	監理者に相談のこと。
仕様	インターホン取付のみ

監視カメラ（屋内ドーム型）



電源・消費電力	DC12V 約8．6W、PoE（IEEE802．3af準拠）約8．7W
撮像素子・有効画素数・走査方式	約１／２．８型 CMOSセンサー・約２１０万画素・プログレッシブ
最低照度	(F1．3)カラー：0．0006lx、白黒：0．0004lx/0lx（IR LED点灯時）
ネットワーク・画像圧縮方式	１０BASE－T/１００BASE－TX・H．２６５、H．２６４、JPEG
画像解像度（最大）	【16：9】1920×1080（60fps）【4：3】1280×960（30fps）
スマートコーディング	ＧＯＰ制御、スマートＶＩＱＳ、スマートＰピクチャ制御
レンズ部	ｆ＝２．９～９ｍｍ（３．１倍、電動ズーム／電動フォーカス）
セキュリティ	ユーザー認証／ホスト認証／ＨＴＴＰＳ
機　能	インテリジェントオート、スーパーダイナミック、逆光／強光補正、カラー／白黒切換、
	動作検知、妨害検知、音検知、ＡＩアプリ搭載可能、ｍｉｃｒｏＳＤスロット

監視カメラ（屋外型）



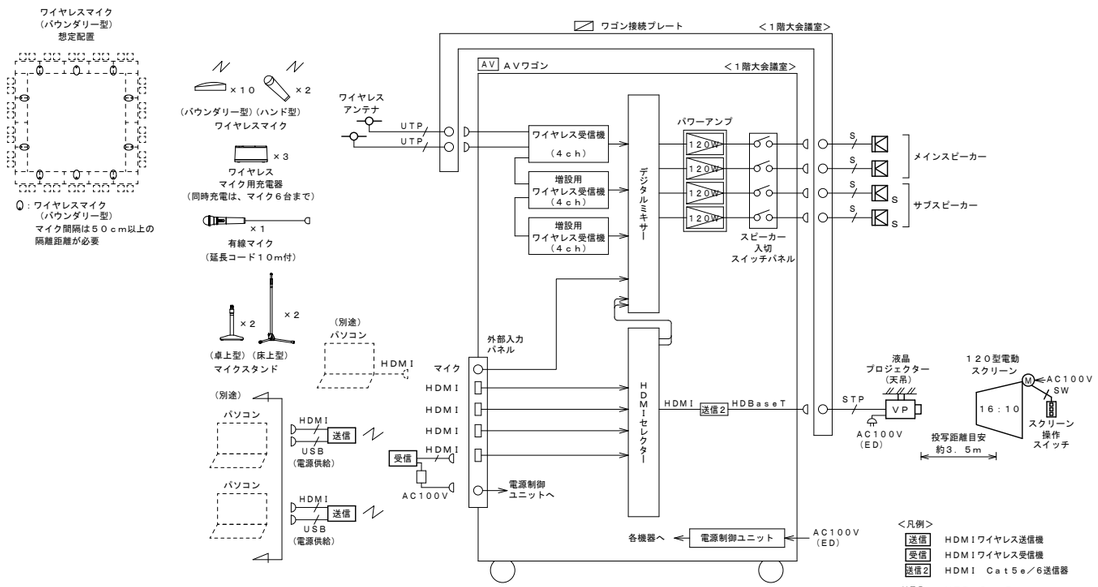
電源・消費電力・質量	DC12V 約8．5W、PoE（IEEE802．3af準拠）約9．1W・約2．4kg
撮像素子・有効画素数・走査方式	約１／２．８型　CMOSセンサー・約２１０万画素・プログレッシブ
最低照度	(F1．3)カラー：0．009lx、白黒：0．005lx/0lx（IR LED点灯時）
ネットワーク・画像圧縮方式	１０BASE－T/１００BASE－TX・H．２６５、H．２６４、JPEG
画像解像度（最大）	【16：9】1920×1080（60fps）【4：3】2048×1536（15fps）
スマートコーディング	ＧＯＰ制御、スマートＶＩＱＳ、スマートＰピクチャ制御
レンズ部	ｆ＝２．９～９ｍｍ（３．１倍、電動ズーム／電動フォーカス）
セキュリティ	ユーザー認証／ホスト認証／ＨＴＴＰＳ
防水性・耐衝撃性	ＩＰ６６、Ｔｙｐｅ４Ｘ、ＮＥＭＡ４Ｘ　準拠・ＩＫ１０
機　能	アドバンスド親水コート、インテリジェントオート、スーパーダイナミック、逆光／強光補正、
	カラー／白黒切換、動作検知、妨害検知、音検知、ＡＩアプリ搭載可能、ｍｉｃｒｏＳＤスロット

山口設計
富山県黒部市田家新899-1
ｔｅｌ　(0765)52-1180
Ｆａｘ　(0765)57-2280
１級建築士登録　第362617号　管理建築士　山口　朋文

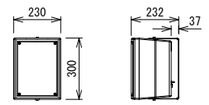
設計　山口 朋文　１級建築士登録第362617号	記事	工事名称　黒部商工会議所会館 新築工事	日付　2025.06
担当　横田 大輔		図面名称　弱電機器姿図（１）	縮尺　A1：－　A3：－

図面番号　E-10　意匠

システム図



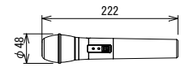
S サブスピーカー



形　式	２ウェイバスレフ形
定格入力（Ｈｉ－ｚ）	６０Ｗ、３０Ｗ、１５Ｗ
許容入力（Ｌｏ－ｚ）	１２０Ｗ／６０Ｗ（連続プログラム／ＲＭＳ）
入力インピーダンス	（Ｈｉ）１６７Ω、３３０Ω、６７０Ω
	（Ｌｏ）８Ω
出力音圧レベル	８８ｄＢ（１ｍ／１Ｗ）
周波数特性	６０Ｈｚ～２０ｋＨｚ（－２０ｄＢ）
使用スピーカー	低音用：１６ｃｍコーン型　高音用：ドーム型
仕上げ	エンクロージャー：樹脂製
	パンチングネット：金属製
その他	取付金具付属

ワイヤレスマイク（ハンド型）

＜２本＞



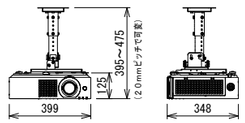
使用周波数	１．９ＧＨｚ帯（ＤＥＣＴ準拠方式）
使用マイク	単一指向性エレクトレット・コンデンサーマイクロホン
周波数特性	１００Ｈｚ～１５ＫＨｚ
外部入力	１系統：ラインイン－１４ｄＢＶ
	φ３．５ｍｍステレオミニジャック（モノラルミックス）
使用電池	単３形充電式ニッケル水素電池×１個
	または、単３形アルカリ乾電池×１個
電池寿命（２５℃連続使用）	約８時間（単３形ニッケル水素電池ＢＫ-３ＭＣＣ使用時）
	約６時間（単３形アルカリ乾電池ＬＲ６ＸＪ使用時）
	約８時間（単３形アルカリ乾電池ＬＲ６ＮＪ使用時）

マイクスタンド（卓上型）

＜２台＞

スタンドねじ	ＰＦ１／２×１４

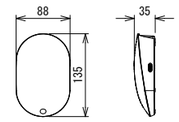
VP 液晶プロジェクター（天吊）



電　源	ＡＣ１００Ｖ　５０Ｈｚ／６０Ｈｚ、最大３２０Ｗ
表示デバイス	０．６４型　透過型液晶パネル３枚　３原色方式
光　源	レーザーダイオード
レンズ	手動ズーム（１．６倍）・手動フォーカス方式
投写画面サイズ	３０～３００型（アスペクト比　１６：１０時）
光出力	６５００ｌｍ［ノーマル］
解像度	１９２０ドット×１２００ドット
接続端子	ＨＤＭＩ入力×２、コンピューター入力（Ｄ－ｓｕｂ１５Ｐ・メス）×１、
	音声入力×１、音声出力×１、シリアル入力×１、ＬＡＮ端子、
	デジタルリンク／ＬＡＮ端子、ＵＳＢタイプＡ×１
質　量	約６．９ｋｇ（本体）、約２．７６ｋｇ（取付金具）

ワイヤレスマイク（パウンダリー型）

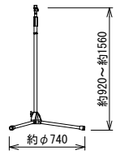
＜１０台＞



使用周波数	１．９ＧＨｚ帯（ＤＥＣＴ準拠方式）
使用マイク	単一指向性エレクトレットコンデンサーマイクロホン
最大入力音圧レベル	１３０ｄＢ
周波数特性	１００Ｈｚ～１５ｋＨｚ
外部入力端子	１系統：－１４ｄＢＶ φ３．５ｍｍステレオミニジャック（モノラルミックス）
充電端子（設定保守接続端子）	ＵＳＢ　Ｔｙｐｅ－Ｃ（電池充電と本体への給電）
使用電池・電池動作時間	単３形ニッケル水素電池ＢＫ－３ＭＣＣ×２本・約１３時間
	単３形アルカリ乾電池ＬＲ６ＮＪ×２本・約１３時間
インジケーター	トーク、入力レベル（４段階）、充電、ステータス
質　量	約２６０ｇ（乾電池ＬＲ６ＸＪ含む）
備　考	電池別売

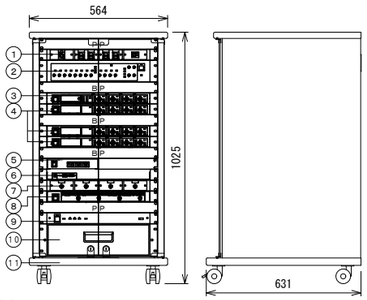
マイクスタンド（床上型）

＜２台＞



スタンドねじ	３／８－１６ＵＮＣ
	ＰＦ１／２×１４（変換ねじ使用時）

AV ＡＶワゴン



（構成）

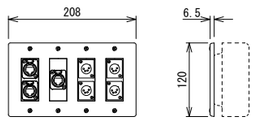
番号	名　　称	員数	備　考
１	外部入力パネル	１	
２	デジタルミキサー	１	
３	ワイヤレス受信機（４ｃｈ）	１	
４	増設ワイヤレス受信機（４ｃｈ）	３	
５	ＨＤＭＩセレクター	１	
６	ＨＤＭＩ　Ｃａｔ５ｅ／６送信器	１	
７	スピーカー入切スイッチパネル	１	
８	パワーアンプ（８Ω、１２０Ｗ×４）	１	
９	電源制御ユニット	１	
１０	引出しユニット	１	
１１	収納ワゴン	１	
	ＢＰ：ブランクパネル　　ＰＰ：通気用パネル		

（仕様）

外部入力パネル	
使用コネクター	マイク×１、ＨＤＭＩ×４、ＡＣ１００Ｖコンセント×１
デジタルミキサー	ＷＲ－ＤＸ００２　相当品
周波数特性	２０Ｈｚ～２０ｋＨｚ
入　力	モノラル×８、ステレオ×４
出　力	メイン×２、モノラル×２、ＲＥＣ×１
機　能	ハウリングサプレッサー×４、ＥＱ×８、ＶＣＡ×４
	ステレオミュート（オート／マニュアル）、パターン制御（４）
ＡＤ／ＤＡ変換	２４ｂｉｔ

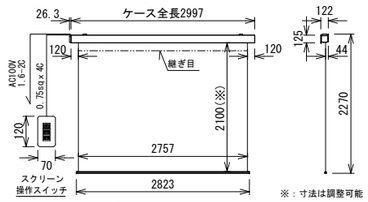
ワイヤレス受信機（４ｃｈ）	ＷＸ－ＳＲ２０４Ａ　相当品
ワイヤレスアンテナ接続	８ポート、ＲＪ－４５コネクター
増設ワイヤレス受信機接続	１ポート、ＲＪ－４５コネクター
音声入力	１系統：補助入力　－１０ｄＢＶ　平衡６００Ω
音声出力	４系統：チャンネル出力　-１０ｄＢＶ　平衡６００Ω
	１系統：ミキシング出力　－１０ｄＢＶ/－５０ｄＢＶ　平衡６００Ω
増設ワイヤレス受信機（４ｃｈ）	ＷＸ－ＳＥ２００Ａ　相当品
増設ワイヤレス受信機接続	２ポート（入力１、出力１）、ＲＪ－４５コネクター
音声入力	１系統：補助入力　－１０ｄＢＶ　平衡６００Ω
音声出力	４系統：チャンネル出力　－１０ｄＢＶ　平衡６００Ω
	１系統：ミキシング出力　－１０ｄＢＶ/－５０ｄＢＶ　平衡６００Ω
ＨＤＭＩセレクター	ＵＳ－４１、ＭＫ－１００　相当品
映像信号方式	４Ｋ６０Ｐ　４：４：４　２４ｂｉｔ、他
映像入出力数	ＨＤＭＩ　４入力１出力（２分配）
音声出力信号方式	アンバランスステレオ、リニアＰＣＭ
外部制御入力	ＬＡＮ（１０ＢＡＳＥ－Ｔ、１００ＢＡＳＥ－ＴＸ）
その他	内蔵ＥＤＩＤエミューレーション
	ラックマウント金具共
ＨＤＭＩ　Ｃａｔ５ｅ／６送信器	ＣＲＯ－ＨＥ２５ＴＸ、ＭＫ－Ｕ１０４　相当品
映像入力信号	ＨＤＭＩ Ｔｙｐｅ Ａ １９ ピンコネクタ １ 系統
	ＴＭＤＳ クロック ２５ＭＨｚ ～ ３００ＭＨｚ
ＣＡＴ５ｅ／６ 出力	ＨＤＢａｓｅＴ信号ＲＪ－４５ １系統
ＲＳ－２３２Ｃ 入出力	Ｄ－ｓｕｂ９ピン オス １系統
伝送距離	ＣＡＴ５ｅ／６使用時、約７０ｍ
その他	ＥＤＩＤエミュレート機能、ラックマウント金具共
スピーカー入切スイッチパネル	
スイッチ	２極双投スイッチ×４
パワーアンプ（８Ω、１２０Ｗ×４）	ＷＰ－ＤＤ１２４　相当品
定格出力	１２０Ｗ×４（４/８Ω）、２４０Ｗ×２（ＢＴＬ８Ω、７０Ｖ系、１００Ｖ系）
周波数特性	２０Ｈｚ～２０ｋＨｚ
増幅方式	Ｄ級（Ｃｌａｓｓ Ｄ）動作
入力端子（４ｃｈ）	コネクター式端子台ヘッダー
ＳＰ端子（４ｃｈ）	ねじ式ターミナル
電源制御ユニット	ＷＵ－Ｌ６１　相当品
電　源	ＡＣ１００Ｖ　５０／６０Ｈｚ
ＡＣ電源容量	全コンセント合計最大１４．８Ａ以下
電源コンセント	１１（連動×９、非連動×２）
引出しユニット	ＥＩＡ－Ｄ３　相当品
最大積載質量	約１５ｋｇ
引出し内寸	Ｗ３８０×Ｈ１０７×Ｄ３２３（ｍｍ）
収納ワゴン	ＥＩＡ－Ｋ２０Ｂ　相当品
本　体	化粧合板
扉	強化ガラス　鍵付（２７０°開閉可）
キャスター	φ６０ツイン　４個（ストッパー付２個）

ワゴン接続プレート



使用コネクター	ＮＥ８ＦＤＸ－Ｙ６　　×２（ワイヤレスアンテナ）
	ＮＥ８ＦＤＸ－Ｙ６　　×１（プロジェクター）
	ＸＬＲ４－３２－Ｆ７７　　×４（スピーカー）
プレート	新金属プレート
適合ボックス	ＪＩＳ４個用スイッチボックス深型（別途）

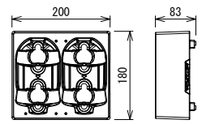
１２０型電動スクリーン



定格電圧、電流	ＡＣ１００Ｖ　５０／６０Ｈｚ、０．９６Ａ
スクリーン	１２０型　ＷＸＧＡ（１６：１０）
昇降速度（ｍｍ／ｓｅｃ）	６６（５０Ｈｚ）／７９（６０Ｈｚ）
スクリーン生地	ホワイト（ＷＧ１０３）　防炎品
質　量	５６ｋｇ
付属品	スクリーン操作スイッチ（壁埋込、モダンプレート）

ワイヤレスマイク用充電器

＜３台＞

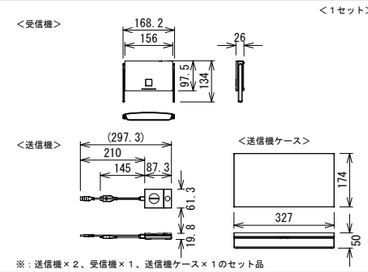


電源・消費電力	ＡＣ１００Ｖ ５０Ｈｚ／６０Ｈｚ（付属ＡＣアダプター使用）・最大１４Ｗ
質　量	充電器 約７２０ｇ、ＡＣアダプター 約２３０ｇ（電源コード除く）
充電口数	最大４口
充電方式	非接触（無接点）充電
インジケーター	充電（充電口ごと）、電源
ネットワーク接続端子	ＲＪ－４５コネクター、１００ＢＡＳＥ－ＴＸ
備　考	各充電口の充電状態を運用支援ソフトから確認可能
付属品	ＡＣアダプター、電源コード、ハンドマイク用アタッチメント×２
備　考	単３形ニッケル水素電池共

送信 ＨＤＭＩワイヤレス送信機

受信 ＨＤＭＩワイヤレス受信機

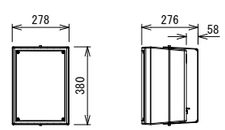
＜１セット＞



※：送信機×２、受信機×１、送信機ケース×１のセット品

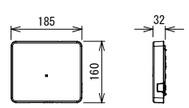
＜受信機＞	
電源・消費電力	ＤＣ５Ｖ／２Ａ（ＡＣアダプター）・１０Ｗ
外形寸法	Ｗ１５６×Ｈ２６×Ｄ９７．５ｍｍ（アンテナ除く）
接続端子	ＨＤＭＩ／ＵＳＢ－Ａ（ｆｅｍａｌｅ）／ＲＪ４５（ＬＡＮ）
最大出力解像度／フレームレート	１９８０×１０８０／最大６０ｐ
	３８４０×２１６０／最大６０ｐ（ＨＤＭＩ出力）
質　量	約２７０ｇ
周波帯域	２．４ＧＨｚ帯　２４０１ＭＨｚ－２４８３ＭＨｚ、１３チャンネル
	５ＧＨｚ帯　５１５０ＭＨｚ-５２５０ＭＨｚ、３６/４０/４４/４８チャンネル
ワイヤレス通信規格	ＩＥＥＥ８０２．１１ｂ／ａ／ｇ／ｎ／ａｃ／ａｘ
セキュリティ	ＷＰＡ２／ＷＰＡ３
到達距離（送信機と受信機間の最大距離）	５ＧＨｚ帯、３０ｍ（見通し／電波条件良好時）
備　考	ＨＤＭＩ－ＣＥＣ、Ｗｉｒｅｌｅｓｓ Ｄｉｓｐｌａｙ
＜送信機＞	
電源・消費電力	ＤＣ５Ｖ／０．９Ａ（ＵＳＢ給電）・４．５Ｗ（映像表示時）
外形寸法	Ｗ６１．３×Ｈ１９．８×Ｄ２９７．３ｍｍ（ケーブル含む）
接続端子	ＨＤＭＩ／ＵＳＢ－Ａ（ｍａｌｅ）
最大入力解像度／フレームレート	１９２０×１０８０／最大６０ｐ、３８４０×２１６０／最大３０ｐ
質　量	約１３０ｇ
周波帯域	５ＧＨｚ帯　５１５０ＭＨｚ－５２５０ＭＨｚ
	３６／４０／４４／４８　チャンネル
ワイヤレス通信規格	ＩＥＥＥ８０２．１１ａｃ／ａｘ
到達距離	５ＧＨｚ帯、３０ｍ（見通し／電波条件良好時）
＜送信機ケース＞	
外形寸法	Ｗ３２７×Ｈ５０×Ｄ１７４ｍｍ
質　量	約４７０ｇ

メインスピーカー



形　式	２ウェイバスレフ形
定格入力（Ｈｉ－ｚ）	８０Ｗ、６０Ｗ、３０Ｗ
許容入力（Ｌｏ－ｚ）	１８０Ｗ／９０Ｗ（連続プログラム／ＲＭＳ）
入力インピーダンス	（Ｈｉ）１２６Ω、１６７Ω、３３０Ω
	（Ｌｏ）８Ω
出力音圧レベル	９０ｄＢ（１ｍ／１Ｗ）
周波数特性	５５Ｈｚ～２０ｋＨｚ（－２０ｄＢ）
使用スピーカー	低音用：２０ｃｍコーン型　高音用：ドーム型
仕上げ	エンクロージャー：樹脂製
	パンチングネット：金属製
その他	取付金具付属

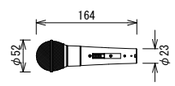
ワイヤレスアンテナ



使用周波数	１．９ＧＨｚ帯（ＤＥＣＴ準拠方式）
電　源	ＤＣ２４Ｖ、ＲＪ－４５コネクター
	ワイヤレス受信機またはアンテナ給電ユニットより給電
無　線	内蔵アンテナ、ダイバーシティ受信
防水性能	ＩＰＸ４相当（雨が直接かからない軒下設置可）

有線マイク

＜１本＞



形　式	ダイナミック型
感　度	－５２ｄＢ
周波数特性	７０Ｈｚ～１６ｋＨｚ
指向特性	ハイパーカーディオイド
出力インピーダンス	３００Ω（平衡型）
その他	マイクフォルダー付、マイク延長コード（１０ｍ、
	ＸＬＲ型）共

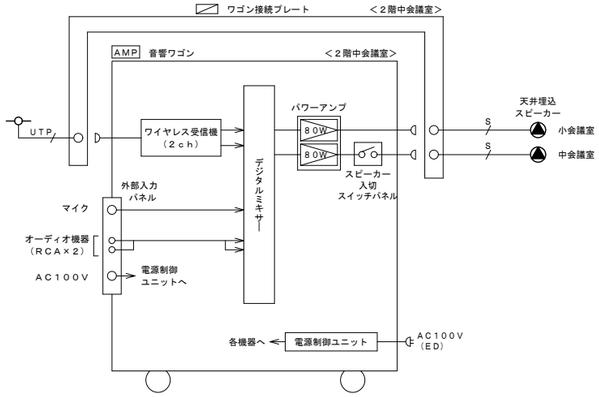
機器の仕様、姿図、寸法等は参考とする。

山口設計
１級建築士登録　第362617号　管理建築士　山口　朋文
富山県黒部市田家新899-1
ｔｅｌ　(0765)52-1180
Ｆａｘ　(0765)57-2280

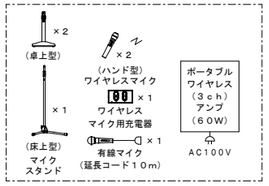
設計　山口 朋文　１級建築士登録第362617号	記事	工事名称　黒部商工会議所会館 新築工事	日付　2025.06
担当　横田 大輔		図面名称　大会議室 音響設備姿図	縮尺　A1：－　A3：－

図面番号　意 匠　E-11

システム図



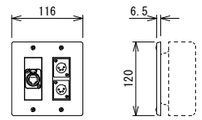
分割使用時の小会議室は、
ポータブルワイヤレスアンプを使用し、
ワイヤレスマイクにて拡声を行う。



＜凡例＞

UTP ―― ＵＴＰ－Ｃａｔ５ｅ
S ―― ４Ｓ６

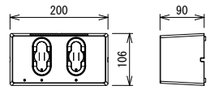
ワゴン接続プレート



使用コネクター	ＮＥ８ＦＤＸ－Ｙ６　　×１（ワイヤレスアンテナ）
	ＸＬＲ４－３２－Ｆ７７　　×２（スピーカー）
プレート	新金属プレート
適合ボックス	ＪＩＳ４個用スイッチボックス深型（別途）

ワイヤレスマイク用充電器

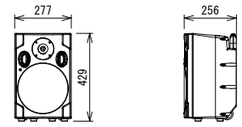
＜全体使用時、中会議室単独使用時：１台＞
＜小会議室単独使用時：１台＞



電　源	ＡＣ１００Ｖ　５０／６０Ｈｚ（付属品専用ＡＣアダプタ使用）
充電口数	２口
充電方式	非接触（無接点）充電
その他	単３形ニッケル水素電池共

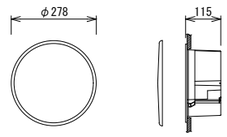
ポータブルワイヤレスアンプ

＜小会議室単独使用時：１台＞



電　源	ＡＣ１００Ｖ　５０／６０Ｈｚ
	または単２形アルカリ乾電池×１０本
電池寿命	約５時間
	（アルカリ乾電池ＬＲ１４ＸＪ、ワイヤレスマイク１本使用、拡声時）
最大出力	６０W（ＡＣ１００Ｖ時）
使用周波数	１．９ＧＨｚ帯（ＤＥＣＴ準拠方式）
ワイヤレスマイク受信数	３ｃｈ
音声入力	有線マイク×１、ライン×１
音声出力	ライン×１、内蔵スピーカー×１
その他	ＳＤカード再生機能、Ｂｌｕｅｔｏｏｔｈ通信機能、２台連動機能

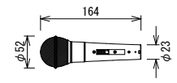
天井埋込スピーカー



形　式	フルレンジ密閉形
許容入力	１２０／６０W（連続プログラム入力／ＲＭＳ）
入力インピーダンス	８Ω
出力音圧レベル	８７ｄＢ（1W／1m）
周波数特性	１１０Ｈｚ～１９ｋＨｚ（－１０ｄＢ以内）
使用スピーカー	１２ｃｍディフューザー付同軸ユニット
仕上げ	本体：樹脂、パネル：パンチングネット

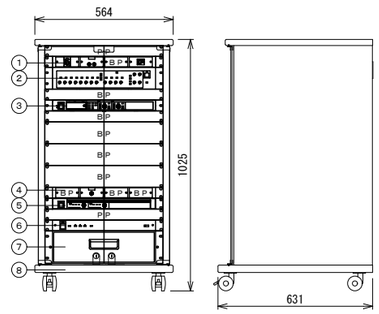
有線マイク

＜全体使用時、中会議室単独使用時：１本＞
＜小会議室単独使用時：１本＞



形　式	ダイナミック型
感　度	－５２ｄＢ
周波数特性	７０Ｈｚ～１６ｋＨｚ
指向特性	ハイパーカーディオイド
出力インピーダンス	３００Ω（平衡型）
その他	マイクフォルダー付、マイク延長コード（１０m、
	ＸＬＲ型）共

AMP 音響ワゴン



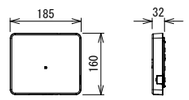
〈仕様〉

外部入力パネル	
使用コネクター	マイク×１、ライン（ＲＣＡ×２）×１、
	ＡＣ１００Ｖコンセント×１
デジタルミキサー	ＷＲ－ＤＸ００２　相当品
周波数特性	２０Ｈｚ～２０ｋＨｚ
入　力	モノラル×８、ステレオ×４
出　力	メイン×２、モノラル×２、ＲＥＣ×１
機　能	ハウリングサプレッサー×４、ＥＱ×８、ＶＣＡ×４
	ステレオミュート（オート／マニュアル）、パターン制御（４）
ＡＤ／ＤＡ変換	２４ｂｉｔ
ワイヤレス受信機（２ｃｈ）	ＷＸ－ＳＲ２０２Ａ　相当品
ワイヤレスアンテナ接続	８ポート、ＲＪ－４５コネクター
増設ワイヤレス受信機接続	１ポート、ＲＪ－４５コネクター
音声入力	１系統：補助入力　－２０ｄＢＶ　平衡６００Ω
音声出力	２系統：チャンネル出力　－２０ｄＢＶ　平衡６００Ω
	１系統：ミキシング出力　－２０ｄＢＶ/－６０ｄＢＶ　平衡６００Ω
スピーカー入切スイッチパネル	
スイッチ	２極双投スイッチ×４
パワーアンプ（８Ω、８０W×２）	ＷＰ－ＤＡ１１２　相当品
定格出力	８０W×２（８Ω）、１１０W×２（４Ω）
	２２０W（ＢＴＬ　８Ω）
周波数特性	２０Ｈｚ～２０ｋＨｚ
クロストーク	－７０ｄＢ以下（１ｋＨｚ）
入力インピーダンス	２０ｋΩ（平衡）
Ｓ／Ｎ	１００ｄＢ以上
電源制御ユニット	ＷＵ－Ｌ６１　相当品
電　源	ＡＣ１００Ｖ　５０／６０Ｈｚ
ＡＣ電源容量	全コンセント合計最大１４．８Ａ以下
電源コンセント	１１（連動×９、非連動×２）
端子接続接続	非常用放送設備端子×１回路
引出しユニット	ＥＩＡ－Ｄ３　相当品
最大積載質量	約１５ｋｇ
引出し内寸	Ｗ３８０×Ｈ１０７×Ｄ３２３（mm）
収納ワゴン	ＥＩＡ－Ｋ２０Ｂ　相当品
本　体	化粧合板
扉	強化ガラス　鍵付（２７０°開閉可）
キャスター	φ６０ツイン　４個（ストッパー付２個）

〈構成〉

番号	名　　称	員数	備　考
1	外部入力パネル	1	
2	デジタルミキサー	1	
3	ワイヤレス受信機（２ｃｈ）	1	
4	スピーカー入切スイッチパネル	1	
5	パワーアンプ（８Ω、８０W×２）	1	
6	電源制御ユニット	1	
7	引出しユニット	1	
8	収納ワゴン	1	
	ＢＰ：ブランクパネル　　ＰＰ：通気用パネル		

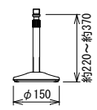
ワイヤレスアンテナ



使用周波数	１．９ＧＨｚ帯（ＤＥＣＴ準拠方式）
電　源	ＤＣ２４Ｖ、ＲＪ－４５コネクター
	ワイヤレス受信機またはアンテナ給電ユニットより給電
無　線	内蔵アンテナ、ダイバーシティ受信
防水性能	ＩＰＸ４相当（雨が直接かからない軒下設置可）
	ＷＸ－ＳＡ２５０Ａ　相当品

マイクスタンド（卓上型）

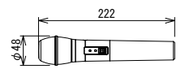
＜全体使用時、中会議室単独使用時：１台＞
＜小会議室単独使用時：２台＞



スタンドねじ	ＰＦ１／２×１４

ワイヤレスマイク（ハンド型）

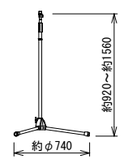
＜全体使用時、中会議室単独使用時：２本＞
＜小会議室単独使用時：２本＞



使用周波数	１．９ＧＨｚ帯（ＤＥＣＴ準拠方式）
使用マイク	単一指向性エレクトレット・コンデンサーマイクロホン
周波数特性	１００Ｈｚ～１５ＫＨｚ
外部入力	１系統：ラインイン－１４ｄＢＶ
	φ３．５mmステレオミニジャック（モノラルミックス）
使用電池	単３形充電式ニッケル水素電池×１個
	または、単３形アルカリ乾電池×１個
電池寿命（２５℃連続使用）	約８時間（単３形ニッケル水素電池ＢＫ－３ＭＣＣ使用時）
	約６時間（単３形アルカリ乾電池ＬＲ６ＸＪ使用時）
	約８時間（単３形アルカリ乾電池ＬＲ６ＮＪ使用時）

マイクスタンド（床上型）

＜全体使用時、中会議室単独使用時：１台＞
＜小会議室単独使用時：１台＞

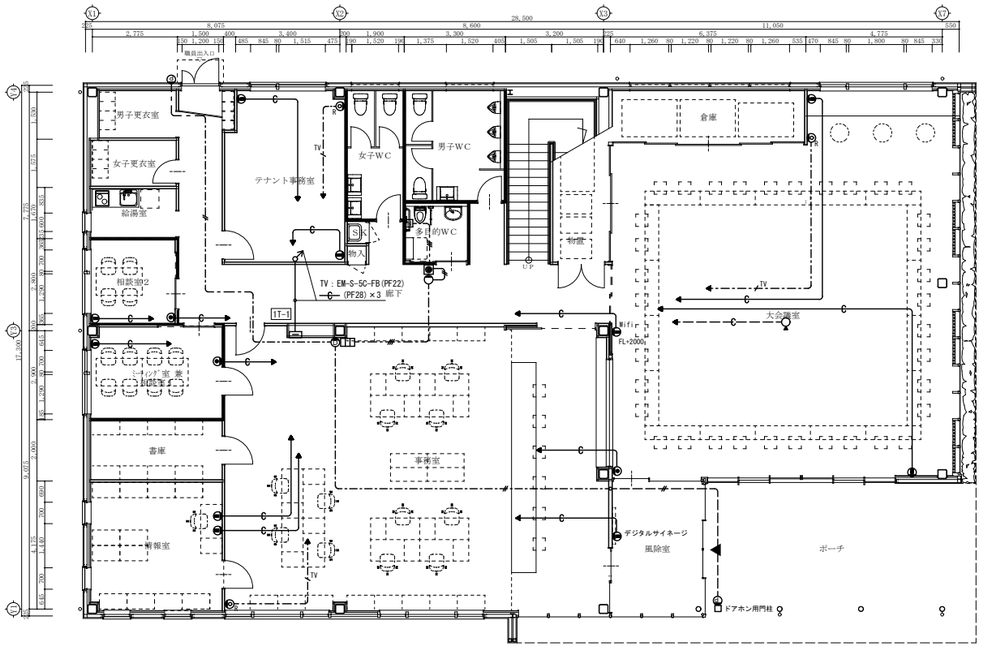


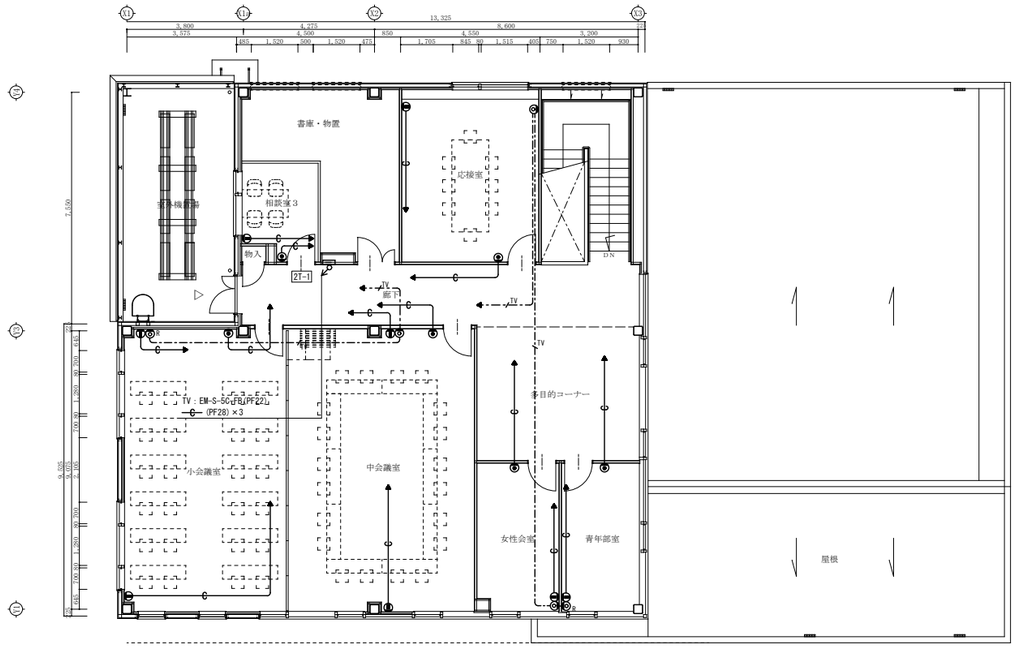
スタンドねじ	３／８－１６ＵＮＣ
	ＰＦ１／２×１４（変換ねじ使用時）

山口設計
富山県黒部市田家新899-1
ｔｅｌ　(0765)52-1180
Ｆａｘ　(0765)57-2280
１級建築士登録　第362617号　管理建築士　山口　朋文

設計　山口 朋文　１級建築士登録第362617号
担当　横田 大輔
記事

工事名称	黒部商工会議所会館 新築工事	日付 2025.06	図面番号
図面名称	小・中会議室 音響設備姿図	縮尺 A1:― A3:―	意 匠 E-12





電話・情報設備工事

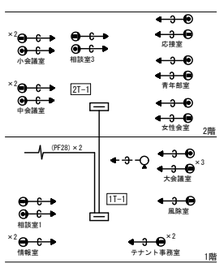
シンボル	機器・配線名称	品番・施工
	金属プレート	FL＋1300程度
	金属プレート	
	フロア通線プレート	
—C—	(PF22)	天井内配管

【注記】

(1)交換機・電話機及びOAフロア内の配線は別途工事とする。

(2)情報設備機器及びOAフロア内の配線は別途工事とする。

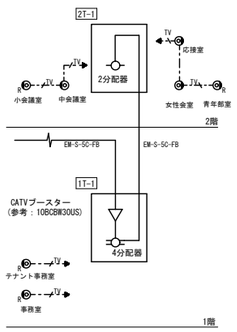
【系統図】



ＴＶ共聴設備工事

シンボル	機器・配線名称	品番・施工
	直列ユニット	中間
	直列ユニット	端末
----J----	EM-S-5C-FB	天井内ｹｰﾌﾞﾙ配線

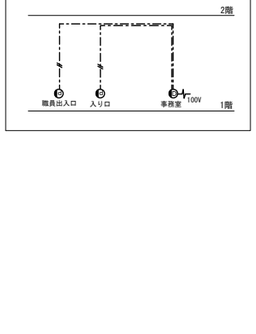
【系統図】



ドアホン設備工事

シンボル	機器・配線名称	品番・施工
	ドアホン親機	姿図参照
	カメラ付き玄関子機	姿図参照
----E----	EM-AE1.2-2C	天井内ｹｰﾌﾞﾙ配線

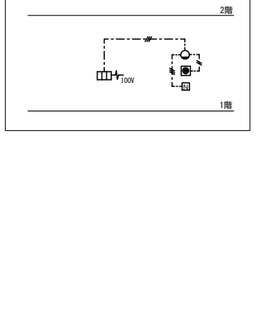
【系統図】



トイレ呼出設備工事

シンボル	機器・配線名称	品番・施工
	トイレ呼出表示(１窓)	姿図参照
	表示灯(ブザー付き)	姿図参照
	復帰ボタン	姿図参照
	トイレ押釦(紐付き)	姿図参照
----E----	EM-AE1.2-2C	天井内ｹｰﾌﾞﾙ配線
----E----	EM-AE1.2-3C	天井内ｹｰﾌﾞﾙ配線

【系統図】



端子盤仕様

盤名称	電話	情報	拡声	ＴＶ共聴
1T-1	—	ONU×1 HUB×1 収納ｽﾍﾟｰｽ	—	ブースター 4分配器
	ITV	火報	その他・仕様	
	—	—	埋込型 鋼板製 ｺﾝｾﾝﾄ:2P15A×2E 収納	

端子盤仕様

盤名称	電話	情報	拡声	ＴＶ共聴
2T-1	—	—	—	2分配器
	ITV	火報	その他・仕様	
	—	—	埋込型 鋼板製 ｺﾝｾﾝﾄ:2P15A×2E 収納	

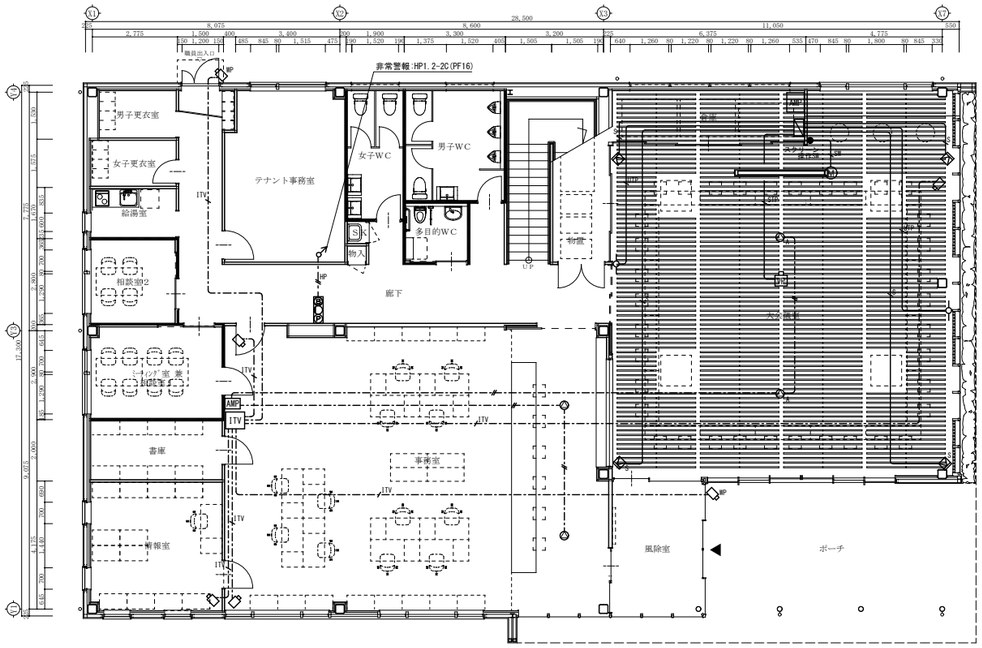
山口設計
１級建築士登録　第362617号　管理建築士　山口　朋文
富山県黒部市田家新899-1
ｔｅｌ　(0765)52-1180
Ｆａｘ　(0765)57-2280

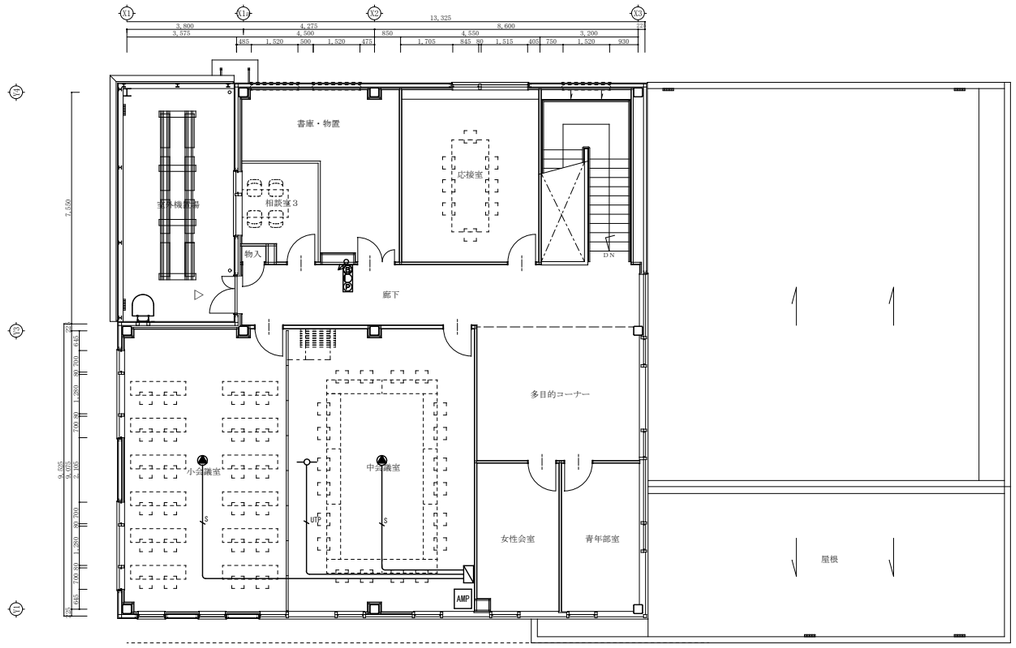
設計　山口 朋文　１級建築士登録第362617号

担当　横田 大輔

記事

工事名称	黒部商工会議所会館 新築工事	日付 2025.06	図面番号
図面名称	電話・情報・ＴＶ共聴・呼出表示設備配線図	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	意 匠 E-13

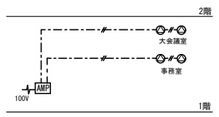




拡声設備工事

シンボル	機器・配線名称	品番・施工
AMP	卓上アンプ	姿図参照
	天井埋込スピーカー	姿図参照
S	天井露出スピーカー	姿図参照
	EM-AE1.2-2C	天井内ｹｰﾌﾞﾙ配線

【系統図】



ＩＴＶ設備工事

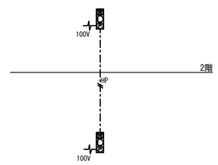
シンボル	機器・配線名称	品番・施工
	監視カメラ	姿図参照
UTP	EM-UTP(CAT5e)	天井内ｹｰﾌﾞﾙ配線

【系統図】
＊システムブロック図参照

非常警報設備工事

シンボル	機器・配線名称	品番・施工
	火災非常警報装置	姿図参照
HP	EM-HP1.2-2C	天井内ｹｰﾌﾞﾙ配線

【系統図】



大会議室 音響設備工事

シンボル	機器・配線名称	品番・施工
AMP	音響ワゴン	姿図参照
	ワゴン接続プレート	姿図参照
	メインスピーカー	姿図参照
S	サブスピーカー	姿図参照
	ワイヤレスアンテナ	姿図参照
UTP	EM-UTP(CAT5e)	天井内ｹｰﾌﾞﾙ配線
S	EM-4S6	天井内ｹｰﾌﾞﾙ配線
STP	EM-STP(CAT5e)	天井内ｹｰﾌﾞﾙ配線
SM	EM-VCTF0.75-4C	天井内ｹｰﾌﾞﾙ配線

【系統図】
＊システムブロック図参照

小・中会議室 音響設備工事

シンボル	機器・配線名称	品番・施工
AMP	音響ワゴン	姿図参照
	ワゴン接続プレート	姿図参照
	天井埋込スピーカー	姿図参照
	ワイヤレスアンテナ	姿図参照
UTP	EM-UTP(CAT5e)	天井内ｹｰﾌﾞﾙ配線
S	EM-4S6	天井内ｹｰﾌﾞﾙ配線

【系統図】
＊システムブロック図参照

法令注記

（１）自動火災報知設備に関する法令注記
本建物は、消防法施行令別表第１(15)項に該当し、1,000m2以上にに該当しないので、自動火災報知設備は設置しない。ただし、収容人数は50人以上となるため、非常警報設備を設置する。

山口設計
富山県黒部市田家新899-1
ｔｅｌ (0765)52-1180
Ｆａｘ (0765)57-2280
１級建築士登録 第362617号 管理建築士 山口 朋文

設計 山口 朋文 １級建築士登録第362617号
担当 横田 大輔
記事

工事名称	黒部商工会議所会館 新築工事	日付 2025.06	図面番号
図面名称	拡声・音響・ＩＴＶ・非常警報設備配線図	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	意 匠 E-14